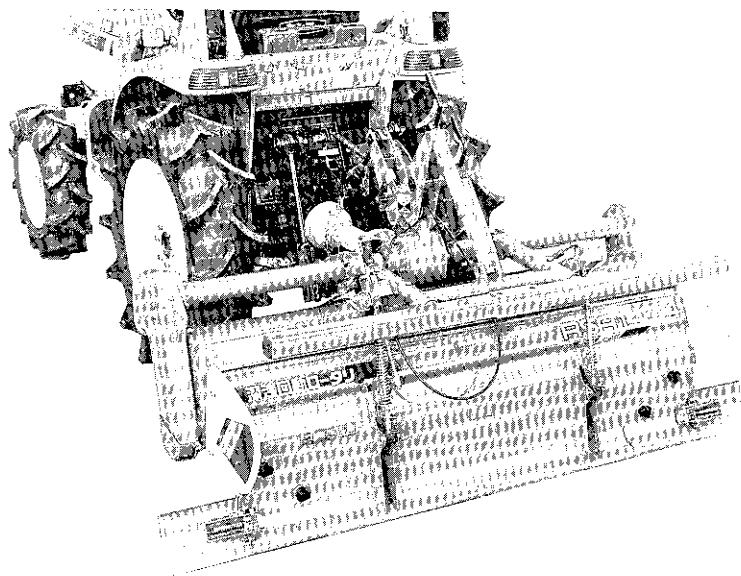


取扱説明書

YANMAR

ヤンマー-深浅回動ロータリー

RSA1004・RSA1204・RSA1304
RSA1404・RSA1604
RCA904・RCA1004・RCA1304



当製品を安全に、また正しくお使いいただくために必ず本
取扱説明書をお読みください。誤った使いかたをすると、
事故を引き起こすおそれがあります。
お読みになった後も必ず製品に近接して保存してください。

ヤンマー-深淺回動ロータリーを お買い上げいただき、ありがとうございます。

はじめに

- この取扱説明書は**ヤンマー-深淺回動ロータリー**の取扱方法と使用上の注意事項について記載してあります。ご使用前には必ず、この取扱説明書を熟知するまでお読みのうえ、正しくお取扱いいただき、最良の状態でご使用ください。
- お読みになったあとも必ず製品に近接して保存してください。
- 製品を貸与または譲渡される場合は、この取扱説明書を製品に添付してお渡しください。
- この取扱説明書を紛失または損傷された場合は、速やかに当社または当社の特約店・販売店にご注文ください。
- なお、品質・性能向上あるいは安全上、使用部品の変更を行なうことがあります。その際には、本書の内容および写真・イラストなどの一部が、本製品と一致しない場合がありますので、ご了承ください。
- ご不明なことやお気付のことがございましたら、お買い上げいただきましたお店、またはお近くの特約店・販売店・農協にご相談ください。
- 印付きの下記マークは、安全上、特に重要な項目ですので、必ずお守りください。

危険

その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。

警告

その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。

注意

その警告文に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。

- この取扱説明書には安全に作業していただくために、安全上のポイント「安全に作業をするために」を記載してあります。使用前に必ずお読みください。

	安全に作業をするために	3
	サービスと保証について	11
1	各部のなまえとはたらき	12
	安全銘板の貼り付け位置	13
2	取付けかた	14
	1. ロータリーの取り付けかた	14
	2. 耕うん爪の取り付けかた	18
	3. オートロータリーのセットと調節のしかた	22
	4. OK-UFO仕様ロータリーの作業前の確認	24
3	作業前の点検	26
	作業に適した調節と使いかた	27
	1. 作業に適した耕うん変速	27
	2. ロータリーカバー回動装置の使いかた	27
	3. 加圧スプリングの調節のしかた	28
	4. サイドリヤカバーの使いかた	29
	5. デプスビーム前後調節のしかた	29
	6. リヤカバーロック・逆転PTOの使いかた	30
	7. 畦立器の取り付けと作業のしかた	30
4	取り外しかた	32
5	定期の点検・整備をするには	34
	1. 定期点検一覧表	34
	2. ロータリーギヤボックスオイルの点検・交換のしかた	35
	3. ロータケースオイルの点検・交換のしかた	35
	4. グリスアップ	36
	5. 注油	36
	6. 爪の交換時期	37
	7. 各部のボルトの締付け	37
6	リヤカバーバリエーション・オプション	38
	1. 三角切欠き付(E仕様)	38
	2. リヤカバーレーキ(オプション)	38
	3. 尾輪(オプション)	38
	4. クイックヒッチ(K仕様オプション)	39
	ロータリーの仕様	42
	用語解説	44

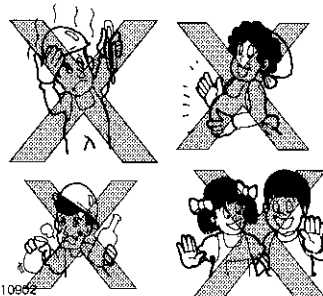
安全に作業をするために

ここに記載されている注意項目を守らないと、
死亡を含む傷害や事故、機械の破損が生じるおそれがあります。
トラクターに装着するときは、必ずトラクターの取扱説明書をお読みください。

●一般的な注意項目

⚠ 警告 こんなときは作業しない

- 過労・病気・薬物の影響、その他の理由により作業に集中できないとき。
- 酒を飲んだとき。
- 妊娠しているとき。
- 18才未満の人。



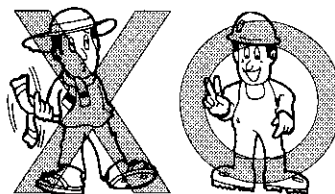
2010952

⚠ 警告 作業に適した服装をする

はち巻き・首巻き・腰タオルは禁止です。ヘルメット・滑り止めの付いた靴を着用し、作業に適した防護具などを付け、だぶつきの無い服装をしてください。

【守らないと】

機械に巻き込まれたり、滑って転倒するおそれがあります。



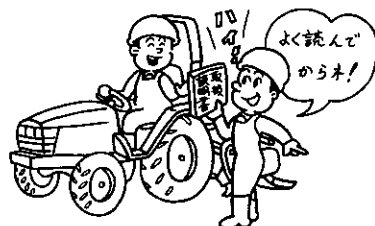
2010903

⚠ 警告 機械を他人にかすときは

取扱方法をよく説明し、使用前に「取扱説明書」を必ず読むように指導してください。

【守らないと】

死亡事故や重大な傷害、機械の破損をまねくおそれがあります。



2010982

⚠ 警告 ロータリーに作業機を装着する時は、 作業機の取扱説明書を必ず読む。

ロータリーに作業機を装着する時は、事前に必ず作業機の取扱説明書をよく読んでください。

【守らないと】

傷害事故や機械の破損をひきおこします。



2010973

安全に作業をするために

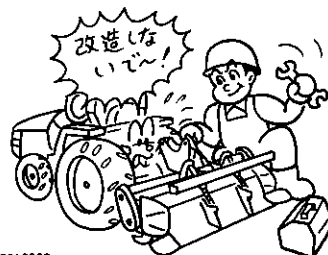
▲ 注意 機械の改造禁止

純正以外の部品や指定以外のアタッチメントを取り付けしないでください。

改造をしないでください。

【守らないと】

事故・ケガ、機械の故障をまねくおそれがあります。



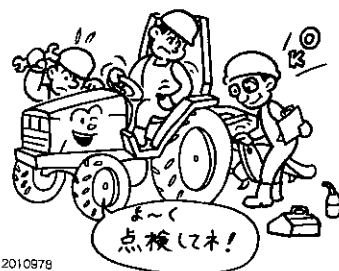
2010983

▲ 注意 点検・整備をおこなう

機械を使う前と後には必ず点検・整備をしてください。

【守らないと】

事故・ケガ、機械の故障をまねくおそれがあります。



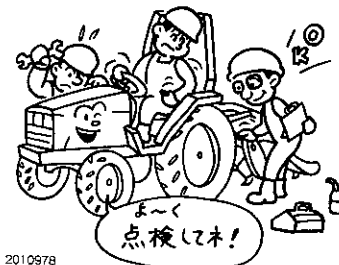
2010979

▲ 注意 定期点検整備を受ける

1年毎に定期点検整備を受け、各部の保守をしてください。

【守らないと】

整備不良による事故や機械の故障をまねくおそれがあります。



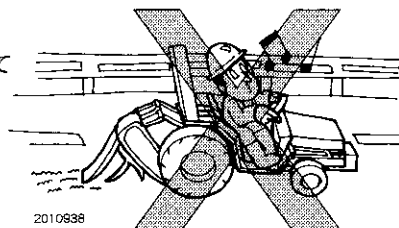
2010978

▲ 注意 公道走行時は作業機の装着禁止

公道走行をするときは、ロータリーなどの作業機を取り外してください。

【守らないと】

道路交通法違反です。事故を引き起こすおそれがあります。



2010938

●作業前後の確認時の注意項目

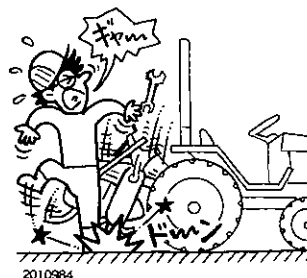
▲ 警告

点検整備はロータリーの落下防止をおこなう

点検整備のときロータリー落下防止のため、油圧ストップバルブを右に回して完全に締めてください。なお、安全のために爪軸に木の台などをしてください

【守らないと】

ロータリーが落下し、傷害事故を引き起こすおそれがあります。



2010984

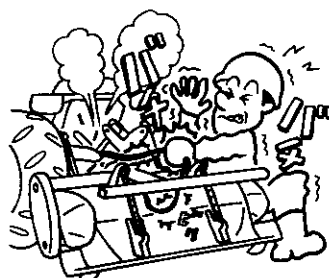
▲ 警告

電気部品・コードを必ず点検

配線コードが他の部品に接触していないか、被覆のはがれや接触部のゆるみがないかを毎日作業前に点検してください。

【守らないと】

ショートして、火災事故をおこすおそれがあります。



2010980

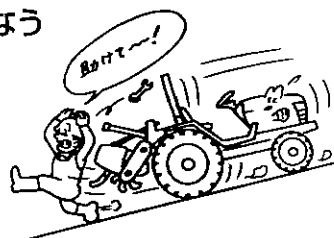
▲ 警告

点検整備は平坦で安定した場所でおこなう

交通の危険がなく、機械が倒れたり動いたりしない平坦で安定した場所で、トラクターに取り付けた状態ではトラクターの前輪に車止めをして点検整備をしてください。

【守らないと】

機械が転倒するなど、思わぬ事故をまねくおそれがあります。



2010975

▲ 注意

点検整備は回転部が完全に停止してからおこなう。

点検整備はPTO変速レバーを「中立」位置にし、回転部が完全に停止してからおこなってください。

【守らないと】

回転部にまき込まれて、傷害事故を引き起こすおそれがあります。



2010977

▲ 注意

カバー類は必ず取り付ける

点検・整備などで取外したカバー類は、必ず取り付けてください。

【守らないと】

機械に巻き込まれて、傷害事故を引き起こすおそれがあります。



2010972

● **トラクターとの着脱に関する注意項目**

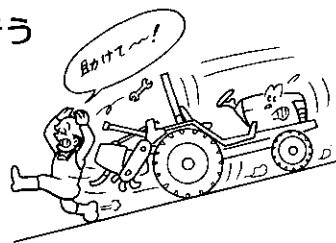
▲ 警告

ロータリーの着脱は平坦な場所で行う

ロータリーの着脱は、平坦で安定した場所でおこなってください。夜間は、適切な照明をしてください。

【守らないと】

事故を引き起こすおそれがあります。



2010975

▲ 警告

**トラクターとロータリーの周辺に
人を近づけない**

トラクターを移動してロータリーを着脱するときは、トラクターの周辺や作業機との間に人が入らないようにしてください。

【守らないと】

傷害事故を引き起こすおそれがあります。



2010941

▲ 警告

**ロータリーを上げる場合にはトラク
ターとの装着を確認する**

ロータリー取付け後、ロータリーを上げる場合には、トップリンク、ロアリンク、リフトリンクなどが確実に取り付いた状態を確認してください

【守らないと】

ロータリーが転倒して、事故をおこすおそれがあります。



2010976

●作業時の注意項目

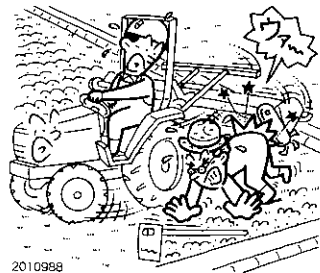
⚠ 警告

ロータリーを付けたときは旋回に注意

ロータリーによってはかなりの長さになるものがありますので、旋回時は周囲の人や物に注意してください。

【注意しないと】

ロータリーが衝突したりして、傷害事故を引き起こすおそれがあります。



2010998

⚠ 警告

トラクターとロータリーの周辺に人を近づけない

トラクターを移動してロータリーを着脱するときは、トラクターの周辺や作業機との間に人が入らないようにしてください。

【守らないと】

傷害事故を引き起こすおそれがあります。



2010941

⚠ 警告

ロータリーを上げる場合にはトラクターとの装着を確認する

ロータリー取付け後、ロータリーを上げる場合には、トップリンク、ロアリンク、リフトリンクなどが確実に取り付けいた状態を確認してください

【守らないと】

ロータリーが転倒して、事故をおこすおそれがあります。

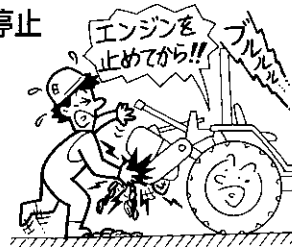


⚠ 警告

爪に巻き付いた草などを取るときはエンジン停止

【守らないと】

機械に巻き込まれて、重傷を負うおそれがあります。



2010943

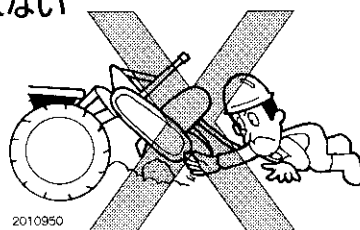
▲ 警告

ロータリーの下にもぐったり、足を入れない

作業機の下にもぐったり、足を踏み込んだりしないでください。

【守らないと】

何かの原因でロータリーが下がったときに、傷害事故を負うおそれがあります。



2010950

▲ 警告

子供を近づけない

子供には充分注意し、近づけないようにしてください。

【守らないと】

傷害事故を引き起こすおそれがあります。



2010941

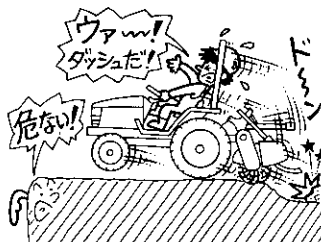
▲ 警告

作業中はダッシュに注意

地面が硬かったり、石の多いところでは、ロータリーをゆっくりと地面に降ろしてください。回転する爪の勢いで機械が思わぬ方向に飛出す（ダッシュ）ことがあります。

【守らないと】

傷害事故を引き起こすおそれがあります。



2010953

●作業終了後・格納時の注意項目

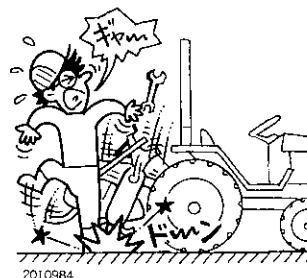
▲ 警告

点検整備はロータリーの落下防止をおこなう

点検整備のときロータリー落下防止のため、油圧ストップバルブを右に回して完全に締めてください。なお、安全のために爪軸に木の台などをしてください

【守らないと】

ロータリーが落下し、傷害事故を引き起こすおそれがあります。



2010984

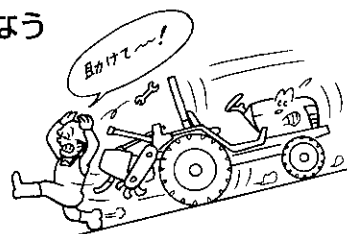
▲ 警告

点検整備は平坦で安定した場所でおこなう

交通の危険がなく、機械が倒れたり動いたりしない平坦で安定した場所で、トラクターの前輪には車止めをして点検整備をしてください。

【守らないと】

機械が転倒するなど、思わぬ事故をまねくおそれがあります。



2010975

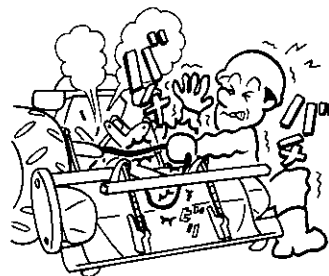
▲ 警告

電気部品・コードを必ず点検

配線コードが他の部品に接触していないか、被覆のはがれや接触部のゆるみがないかを毎日作業前に点検してください。

【守らないと】

ショートして、火災事故をおこすおそれがあります。



2010980

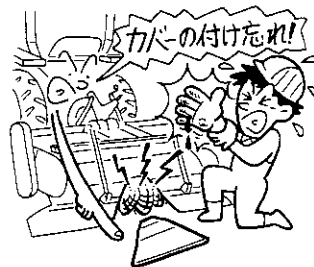
▲ 注意

点検整備は回転部が完全に停止してからおこなう。

点検整備はPTO変速レバーを「中立」位置にし、回転部が完全に停止してからおこなってください。

【守らないと】

回転部にまき込まれて、傷害事故を引き起こすおそれがあります。



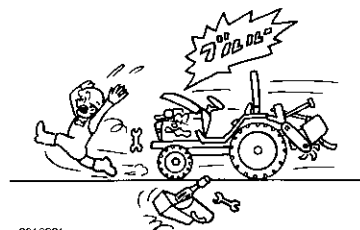
2010972

▲ 注意 点検整備中はエンジン停止

ロータリーをトラクターに取り付けた状態で点検・整備・修理または、掃除をするときは、必ずトラクターの駐車ブレーキをかけ、エンジンを停止してください。

【守らないと】

機械の下敷きになるなど、傷害事故をおこすおそれがあります。



2010981

▲ 注意 カバー類は必ず取り付ける

点検・整備などで取外したカバー類は、必ず取り付けてください。

【守らないと】

機械に巻き込まれて、傷害事故を引き起こすおそれがあります。



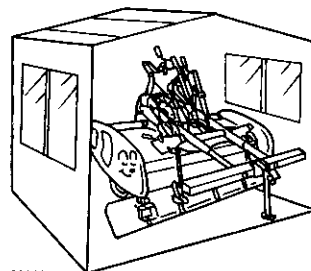
2010972

▲ 注意 ロータリー単体で保管する場合は平坦な場所におく

ロータリー単体で保管する場合は平坦な場所におき、スタンドを取り付けてください。

【守らないと】

ロータリーが転倒し、傷害事故や、機械の破損をひき起こすおそれがあります。



2010974

サービスと保証について

保証書について

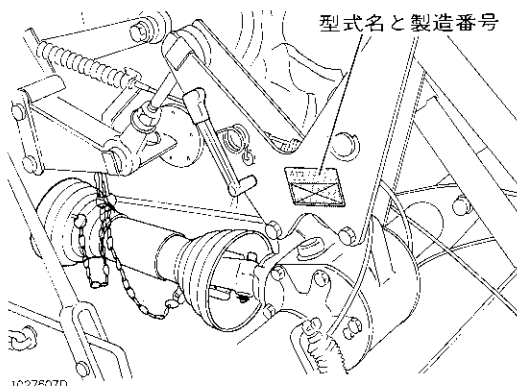
「保証書」はお客様が保証修理を受けられる際に必要となるものです。お読みになった後は大切に保管してください。

アフターサービスについて

機械の調子が悪いときに点検、処置しても、なお不具合があるときは、お買い上げいただいた販売店、農協、お近くの当社支店までご連絡ください。

〈連絡していただきたい内容〉

- 型式名と製造番号
- ご使用状況は？
(何速で、どんな作業をしていたときに)
- どのくらい使用されましたか？
(約□□アールまたは約□□時間使用后)
- 不具合が発生したときの状況をできるだけ詳しくお教えてください。



1027607D

補修部品の供給年限について

この製品の補修用部品の供給年限（期間）は、製造打ち切り後8年です。ただし、供給年限内であっても、特殊部品については納期などをご相談させていただく場合もあります。補修用部品の供給は、原則的には上記の供給年限で終了しますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合には、納期および価格についてご相談させていただきます。

本製品の使用目的について

本製品は、ほ場において農業用トラクターに装着し、土壌の耕うんまたは、農業用作業機を装着しての農作業にご使用ください。使用目的以外の作業や改造などは決して行なわないでください。使用目的以外の作業や改造をした場合は、保証の対象になりませんのでご注意ください。（詳細は保証書をご覧ください。）

各部のなまえとはたらき

サイドロータリー

※図は標準仕様です。

調節ハンドル

ロータリー用作業機を取付けたとき、作業機の姿勢を調節します。

リヤカバーロックレバー

リヤカバーをロックする時に使用します。

オートロータリー

フィードバックワイヤ

リヤカバーロック

土寄せ作業や、ロータリーの着脱時に使用します。

サイドカバー

ハンガーロッド

リヤカバーの作業位置を調節するのに使用します。

1027601A

回転ハンドル(標準仕様)

回転ハンドルを回して、ロータリーカバーを作業内容に合わせることで、理想的な耕うん姿勢を確保します。
OK-UFO仕様には、回転シリンダが装備されています。

延長リヤカバー

隣接耕などの段差を少なくします。

デプスビーム

ロータリー用作業機や尾輪(オプション)、畦立器などの取付けに使用します。

サイドリヤカバー

片培土作業時や尾輪(オプション)作業時に取外しができます。

センターロータリー

調節ハンドル

ロータリー作業機を取付けたいとき、作業機の姿勢を調節します。

オートロータリー

フィードバックワイヤ

サイドカバー

延長リヤカバー

隣接耕などの段差を少なくします。

1027601B

回転ハンドル(標準仕様)

回転ハンドルを回して、ロータリーカバーを作業内容に合わせることで、理想的な耕うん姿勢を確保します。
OK-UFO仕様には、回転シリンダが装備されています。

デプスビーム

ロータリー用作業機や尾輪(オプション)、畦立器などの取付けに使用します。

ハンガーロッド

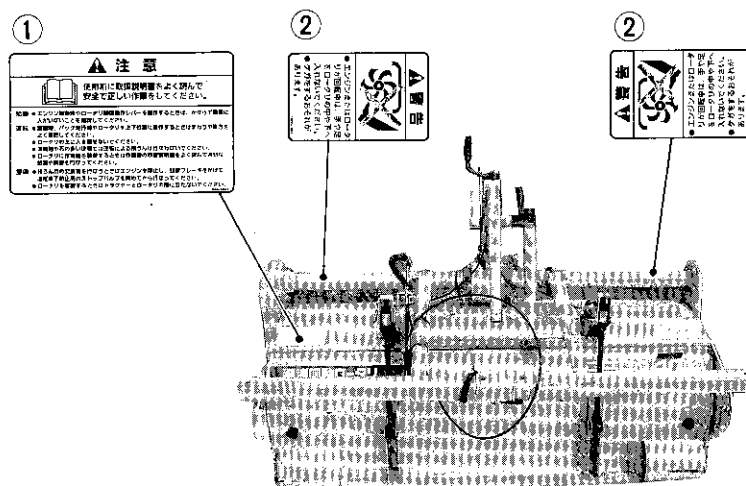
リヤカバーの作業位置を調節するのに使用します。

安全銘板の貼り付け位置

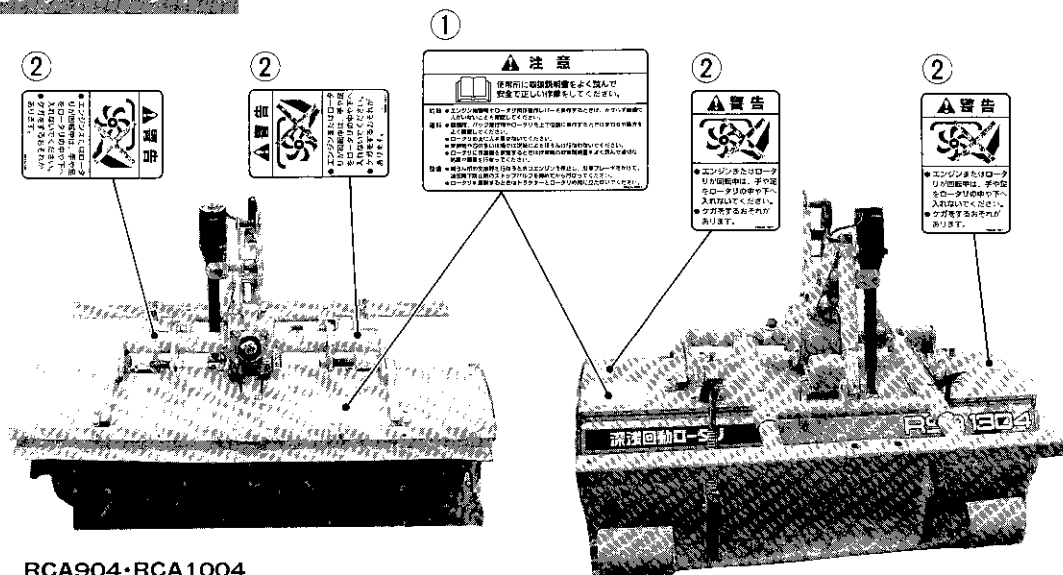
安全に作業していただくために安全銘板の貼り位置を示したものです。

安全銘板は常に汚れや破損のないように保ち、もし破損・紛失した場合は、新しいものに貼り直してください。

サイドロータリー



センターロータリー



RCA904・RCA1004

RCA1304

紛失または破損された場合には、最寄りの販売店または農協に下記の表を参考にご注文ください。

No.	部 品 番 号	個数	備 考
①	1W5903-62250	1	注 意
②	1W5903-62240	2	警 告

取り付けかた

1. ロータリーの取り付けかた

▲警告

- ロータリーの着脱は、平坦な場所で行ってください。とくに夜間のロータリーの着脱は明るい照明を用いるなど、安全に留意して行ってください。
 - トラクターを移動してロータリーを装着する場合には、トラクター周辺やロータリーとの間に人が入らないようにしてください。
 - ロータリーに重い作業機を連結、または装着した場合には、トラクターにバランスウェイトを付け、バランスの良い状態を保ってください。
 - ロータリーを調整する場合には、トラクターの駐車ブレーキをかけ、また、エンジンを停止し、さらにPTO 変速レバーが「中立」位置にあることを確認したうえで行ってください。
 - ロータリーの下へもぐったり、足を踏み込んだりしないでください。ロータリーが下がると危険です。
- 守らないと傷害事故をおこすおそれがあります。

▲注意

- ロータリーの着脱時または、単体保管する場合は、スタンドを絶対に外さないでください。
- PTO軸を使用しないときは、PTOカバーを取り付けてください。
- リフトリンクを片側だけ取り付けただけでロータリーを上げないでください。
- オートロータリーフィードバックワイヤおよび、ドライブシャフトの着脱時は、必ずエンジンを停止してください。

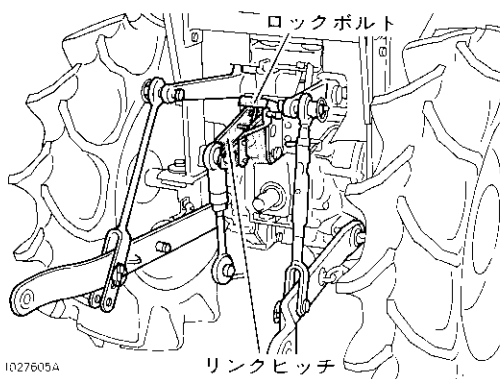
- OK-UFO仕様の場合は、OKボタンを押して「深さ」「傾き」のランプを消灯状態にしてください。

守らないと傷害事故をおこすおそれがあります。

リンクヒッチの取り付け

リンクヒッチは、トラクター側のトップリンクヒンジに取り付けます。

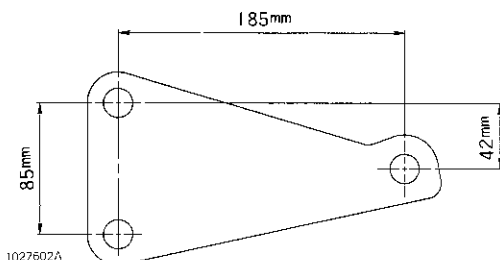
- ①リンクヒッチ側のロックボルトをナットから外れない程度にゆるめます。
- ②ピンを差し込んで、トラクター側ヒンジと固定します。
- ③ロックボルトをリンクヒッチのガタツキがなくなるまで締め付けます。



【取扱いの注意】

- リンクヒッチ取付時、上下逆さまにならないように取り付けてください。くびれ部が上になります。
- ピン穴の摩耗によりリンクヒッチにガタが生じた場合もすみやかに締めてください。

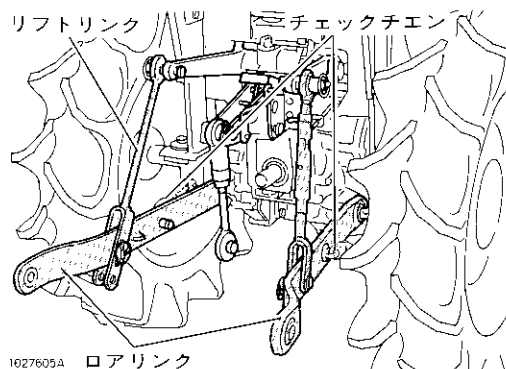
リンクヒッチ



取り付けかた——正しい手順で行ってください

ロアリンクとリフトリンクの取り付け

①ロアリンクとリフトリンクを取り付けます。



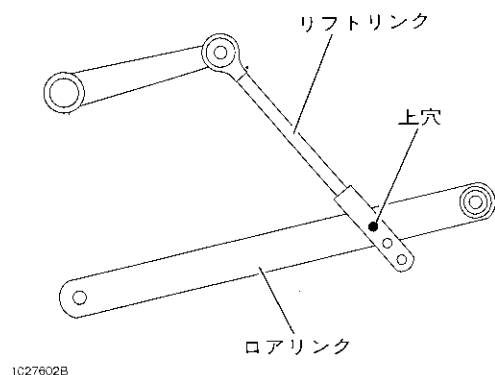
【取扱いの注意】

ロアリンク穴位置とリフトリンク穴位置を正しくセットしてください。

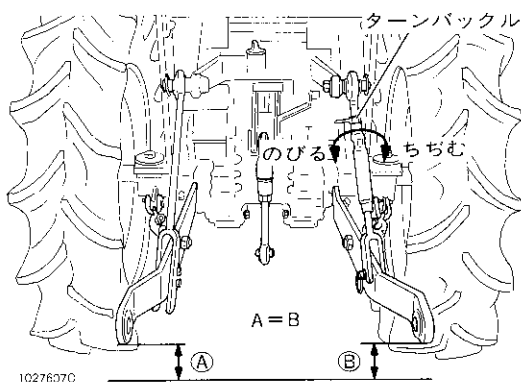
正しくセットされていない場合は、次のような不具合が生じます。

- ポジションコントロールレバーや作業機昇降スイッチを操作したときに、ロータリーがトラクター本体に接触したり、トラクターあるいはロータリーを破損することがあります。
- ドライブシャフトの異音の発生や抜けることがあります。

ロアリンクとリフトリンクの取付穴位置



②右側リフトリンクのターンバックルを回して、左右のロアリンクをほぼ同じ高さにします。

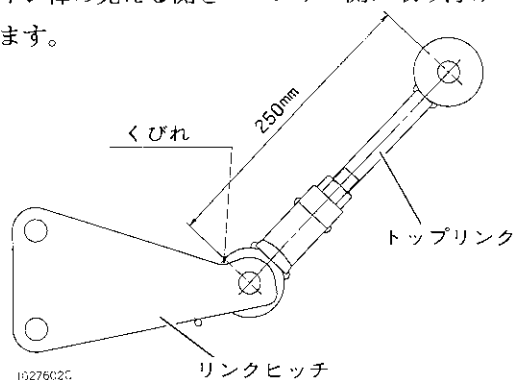


トップリンクの取り付け

【取扱いの注意】

- トップリンクはネジ調節式になっています。出荷時には標準長さ（250mm）に調節してありますので、取り付けや取り外すときには調節しないでください。トップリンクの長さが変わるとロータリーの取り付け位置が変化して、ドライブシャフトの異音の発生や抜けるおそれがあります。
- トップリンク長さの調節は、ピン、穴の摩耗により振動が発生した場合のみ行ってください。調節後は必ず回り止めのロックナットを締め付けてください。

トップリンクをリンクヒッチに取り付けます。ネジ棒の見える側をロータリー側に取り付けます。



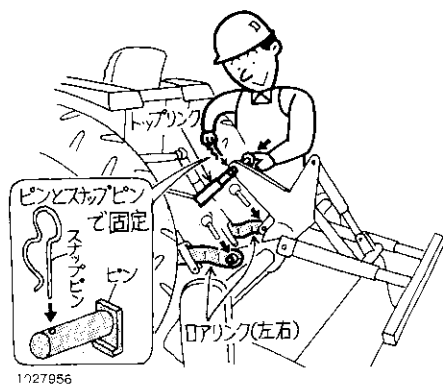
ロータリーのセット

警告

- リフトリンクを片側だけ取り付けただけで、ロータリーを上げないでください。
- オートワイヤおよび、ドライブシャフトの着脱時は、必ずエンジンを停止してください。

守らないと傷害事故をおこすおそれがあります。

- ① ロータリー本体を、ロアリンクとトップリンクに取り付け、ロータリーをセットします。

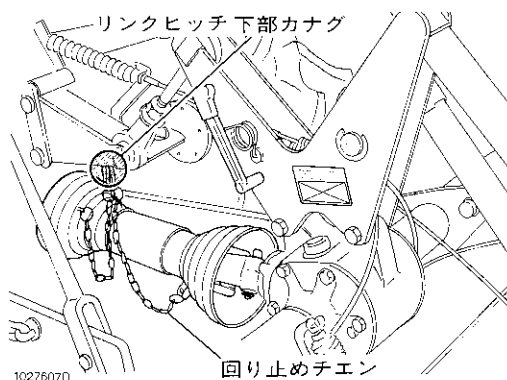


- ② ドライブシャフトを装着します。

【取扱いの注意】

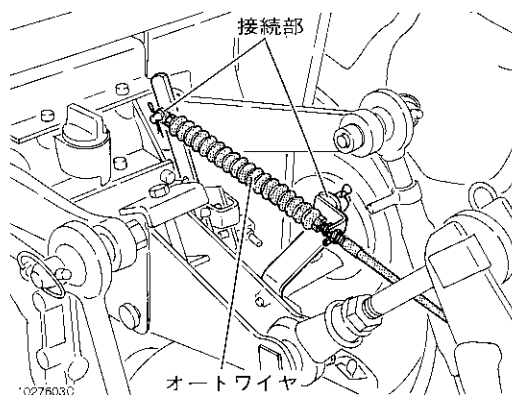
- ドライブシャフトのロックピンが、PTO軸およびロータリー入力軸の溝に入っていることを確認してください。溝に入るとピンが戻ります。

- ③ 安全カバーの回り止めチェーンは、リンクヒッチに取り付けます。



＜OK-UFO仕様でない場合＞

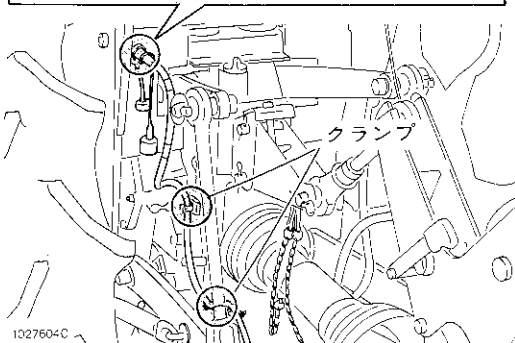
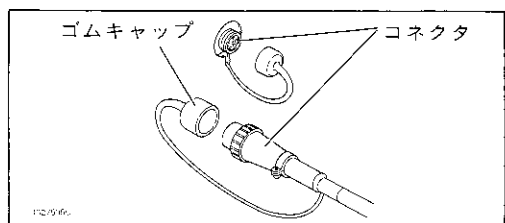
オートワイヤをセットして調節します。
「オートロータリーのセットと調節のしかた」(P22)を参照してください。



＜OK-UFO仕様の場合＞

- ① キースイッチを「OFF」にします。
- ② コネクタを接続します。

トラクターのコネクタ部に接続し、ワイヤハーネスはリフトリンクにクランプします。



取付後の調節

警告

- エンジンをかけての調整確認は危険ですので、トラクターとロータリーの周辺には人を近づけないでください。
- リヤカバーを動かすとロータリーが上下しますので、ロータリーの下には足を踏み込んだりしないでください。

守らないと傷害事故をおこすおそれがあります。

取付後は、次の要領で調節してください。

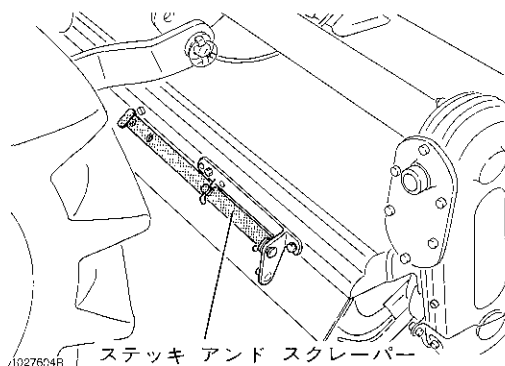
- ① PTO変速レバー・主変速レバーが「N」位置にあることを確認した後、エンジンを始動させます。
- ② ポジションコントロールレバーによってロータリーを地面から少し浮くまで揚げます。そして、本機に対してロータリーの左右の傾きがないように、右リフトリンクターンバックルをまわして調節します。

③ 次にロータリーが本機の中心線にくるようにチェックチェーンバックルを調節してください。チェックチェーンの遊びはロアリンクピン位置で左右10mm程度ゆれるようにしてください。調節ができたらチェックチェーンのターンバックルにスナップピンを差し込みます。

④ ロータリーを回転しながら上げ下げして、ドライブシャフトからの異音、振動がないか確認します。

もし、異音・振動が発生した場合は、装着位置を確認後、トップリンク長さを音の出ない長さに調整します。

⑤ ステッキ アンド スクレーパーを取外し、ロータリーカバー左側前に収納してください。



⑥ OK-UFO仕様は「OK-UFO仕様ロータリーの作業前の確認」(P24)を参照してください。

【取扱いの注意】

- チェックチェーンを強く張りすぎると、チェーンを切ることがあります。

＜クイックヒッチ仕様(K仕様オプション)＞
クイックヒッチ仕様は、(P39)を参照してください。

2. 耕うん爪の取り付けかた

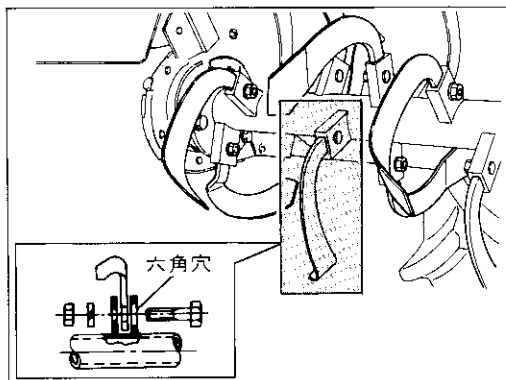
警告

- 爪を取り付けるときは平坦で固い場所を選び、トラクターのエンジンを停止して駐車ブレーキをかけ、機体が動かないようにしてください。
- ロータリーの落下防止のため、油圧ストップ・スローリターンバルブを右に回して完全に締めてください。なお、安全のために爪軸に木の台などをしてください。守らないと傷害事故をおこすおそれがあります。

取付けかた

<サイドドライブロータリー>

- 平面耕の場合、爪取付方向は爪座の六角穴と逆方向の曲がりがるようにして、メガネレンチで確実にボルトを締付けてください。両端の偏心爪は爪座の横の溶接ビードを目印に取付けてください。
- 外盛耕の場合、耕うん爪取付方向は左右両端2本の耕うん爪を内向きにし、耕うん軸中央部を基準として他の耕うん爪はすべて外向きになるように取付けます。
- 内盛耕の場合、耕うん軸の中央部を基準として他の耕うん爪はすべて内向きになるように取付けます。



爪配列

爪の配列は、作業に合わせて次の通りに使いわけることができます。作業内容に合わせて選択してください。

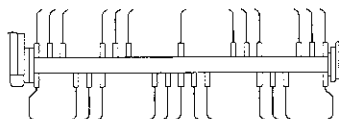
※ 出荷時には、各機種とも平面耕の状態にセットされています。

平面耕(標準)

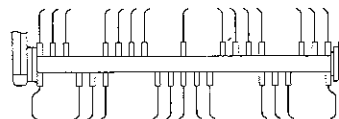


一般水田、畑、耕起作業、代かき作業、整地、等に使用できます。

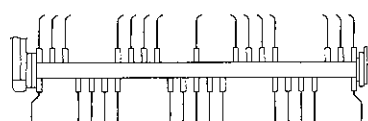
RSA1004



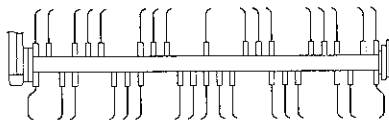
RSA1204



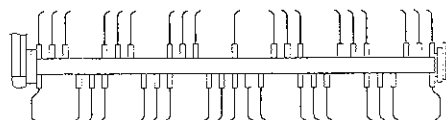
RSA1304



RSA1404



RSA1604

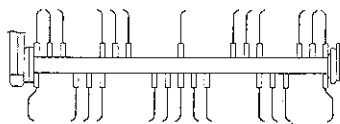


外盛耕

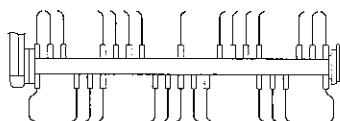


乾土効果を必要とする水田の耕起、畦崩し、畦立、等の作業に使用できます。

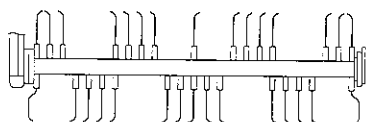
RSA1004



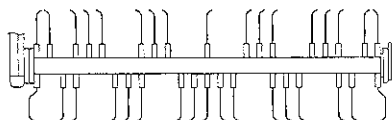
RSA1204



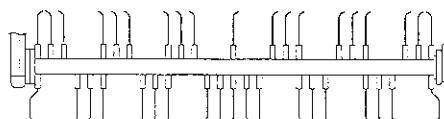
RSA1304



RSA1404



RSA1604

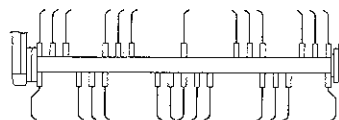


内盛耕

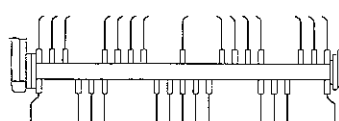


乾土効果を必要とする水田の耕起、幅広畦立て、等に使用できます。また、溝をまたいでの畦崩し作業もできます。

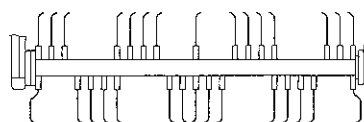
RSA1004



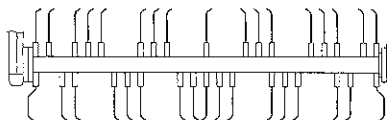
RSA1204



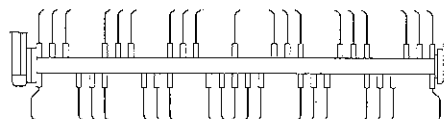
RSA1304



RSA1404



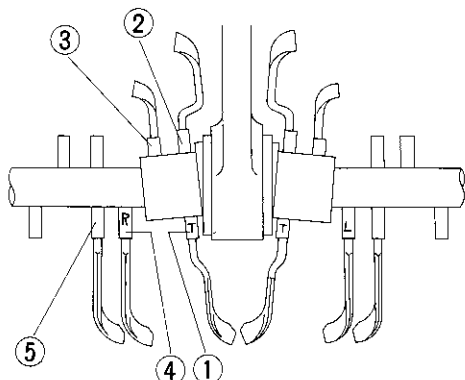
RSA1604



〈センタードライブロータリー〉

耕うん爪の取付方法

●クロス部の耕うん爪の取り付け



耕うん爪ボスに T マークが打刻してある①爪座にはクロスナタヅメを取り付けます。反対方向の②爪座には偏心ナタヅメを取り付けます。

耕うん爪ボス外側の③爪座の耕うん爪取り付け方向は、爪座の六角穴向きと反対方向に耕うん爪のまがりがるように取り付けます。ロータシャフトに L、R の打刻のある④爪座には、打刻に合わせて耕うん爪を取り付けます。

●平面耕の場合、クロス部以外の耕うん爪取り付け方向は、爪座の六角穴向きと反対方向に耕うん爪のまがりがるように取り付けます。

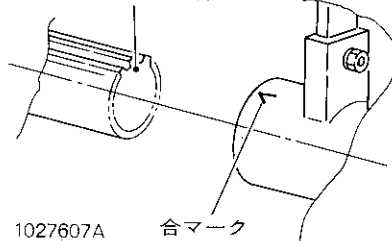
●外盛耕の場合、クロス部と耕うん軸両端および爪座に打刻の④⑤の耕うん爪を除き、すべて外向きになるように取り付けます。

●内盛耕の場合、クロス部以外の耕うん爪は、すべて内向きになるように取り付けます。

●ロータシャフトを取外し、再び組立てる場合は、ファイナルシャフト端面にある打刻の合わせマークとロータシャフトに

打刻してある合わせマークが一致するように取り付けます。

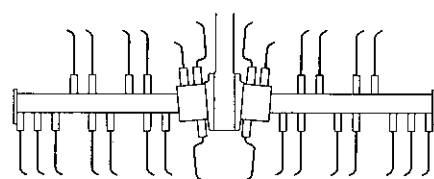
ファイナルシャフト合マーク



平面耕(標準)



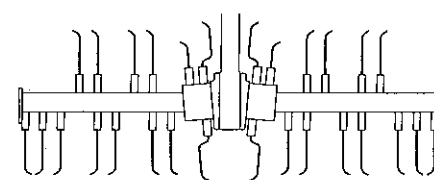
RCA1304



外盛耕



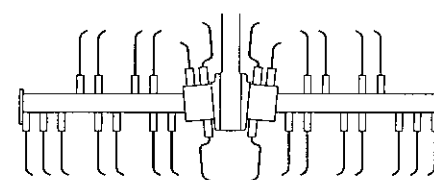
RCA1304



内盛耕



RCA1304



〈ナブラ細土ロータリー〉

【取扱いの注意】

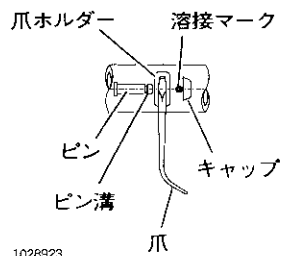
- ナブラ細土ロータリーを最初に使うとき、および耕うん爪を交換したときには、低速で10m程耕うんし、爪がしっかりと食い付いたことを確認してから、耕うんしてください。
- ナブラ細土ロータリーを高回転で空回ししないでください。耕うん爪が緩むことがあります。
- 本ロータリーは、ワンタッチ爪を標準装備していますので、取り付け、取り外し方は従来と異なります。

①平面耕の場合、溶接マークが付いている爪ホルダーには、取り付けるとき爪先端が右に曲った爪を差込み、他の爪ホルダーには左に曲った爪を差込み、ピンとキャップで取り付けます。

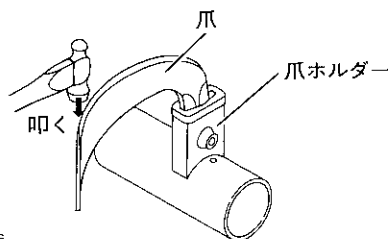
①平面耕の場合、溶接マークが付いている爪ホルダーには、取り付けるとき爪先端が右に曲った爪を差込み、他の爪ホルダーには左に曲った爪を差込み、ピンとキャップで取り付けます。

両端の爪ホルダーには爪先端が内側に曲った偏心爪をピンとキャップで取り付けます。

※キャップは
ピンの溝に
確実にかかるように付けてください。

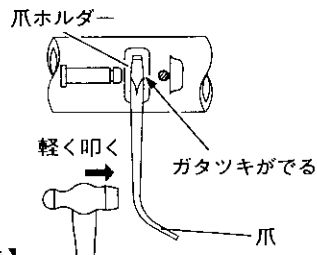


- ②取付後、ハンマーなどで爪の先端を叩き爪が爪ホルダーに食い付いたのを確認して作業に取りかかってください。



取り外しかた

爪の側面をハンマーなどで軽く叩くと、爪がガタツキますのでキャップとピンを取り外します。ピンはキャップ側を押せば簡単に外れます。

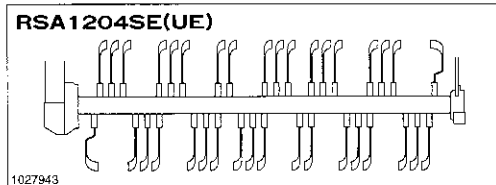


【取扱いの注意】

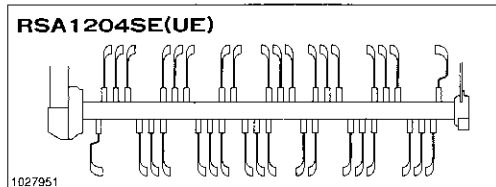
- ワンタッチ爪仕様の場合、爪や爪ホルダーには、オイル、グリスなどの潤滑油は絶対に注油、塗布しないでください。クサビ効果が著しく減少し爪ホルダーの破損につながります。

爪配列

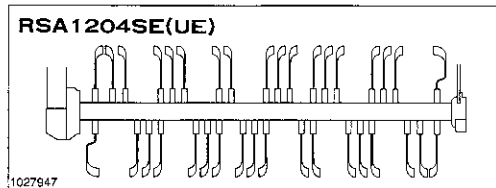
平面耕(標準)



内盛耕



外盛耕



3. オートロータリーのセットと調節のしかた

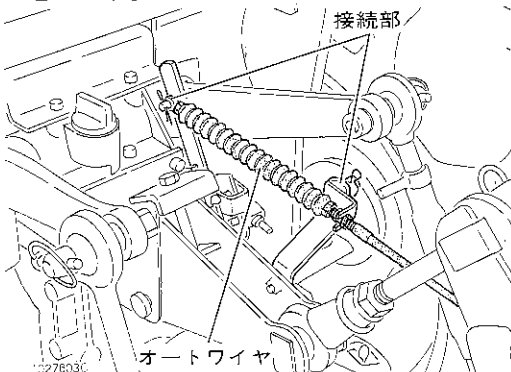
⚠ 警告

- オートワイヤの接続、取り外しは、必ずエンジンを止めてください。

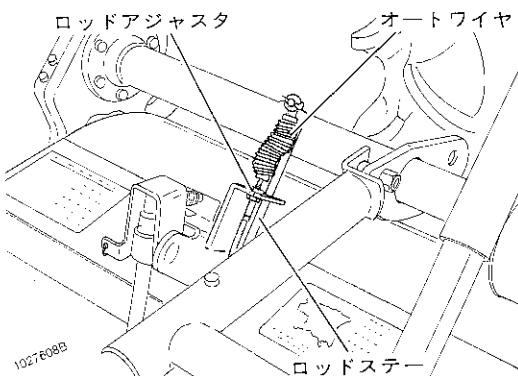
守らないと傷害事故をおこすおそれがあります。

セットのしかた

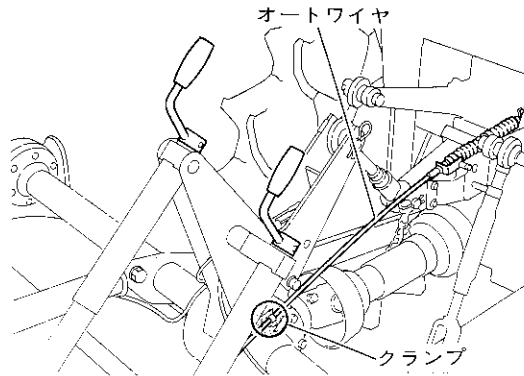
- ① オートワイヤ先端をトラクタのフィードバックリンクに接続し、オートワイヤのワイヤ受け部をトップリンクヒッチに固定します。



- ② オートワイヤ後部をロッドステーに取り付けます。
オートワイヤ後端をロッドに接続します。
(接続するときは、次項の調節と同時に行ってください。)



- ③ オートワイヤをクランプします。

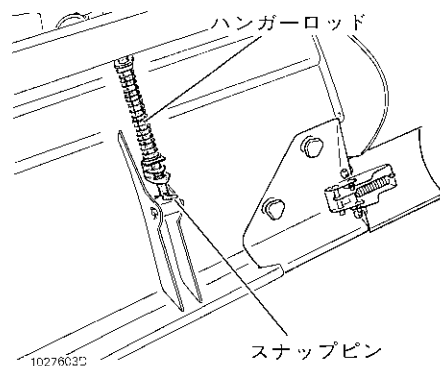


調節のしかた

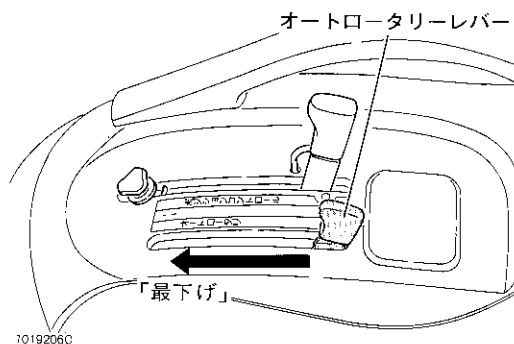
⚠ 警告

- エンジンをかけての調整確認は危険ですので、トラクターとロータリーの周辺には人を近づけないでください。
 - リヤカバーを動かすとロータリーが上下しますので、ロータリーの下には足を踏み込んだりしないでください。
- 守らないと傷害事故をおこすおそれがあります。

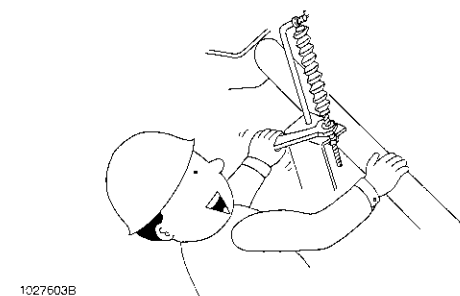
- ① 左右のハンガーロッドの下側のスナップピンを、一番下の穴に差し込んでください。



- ②オートロータリーレバーを「解除」(最深)してエンジンを始動し、リヤカバーが接地しないように、ロータリーを地面より少し浮かしてください。



- ③エンジンを停止し、オートワイヤ後方とロッドを接続したとき、オートワイヤのインナー部の張りをたるまず、引かずの感じにオートワイヤのアジャストナットで調節し、固定してください。



- ④エンジンを始動し、オートロータリーレバーを「上げ」位置方向にしてもロータリーが上がらず、手でリヤカバーを少し持ち上げると、油圧が働いて自動的にロータリーが上がり、手を離すとロータリーが降下すれば、調整は完了です。

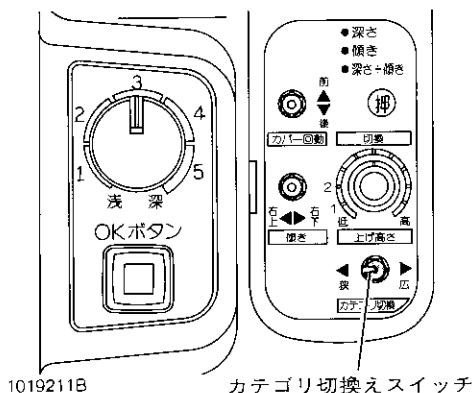


※もしオートロータリーレバーを「上げ」位置方向にしたときに、ロータリーが上がれば調整不良ですので、ロータリーを降してエンジンを止め、③の項目のオートワイヤの張りを少したるませて、再度④の項の確認を行ってください。

4.OK-UFO仕様ロータリーの 作業前の確認

点検前の準備

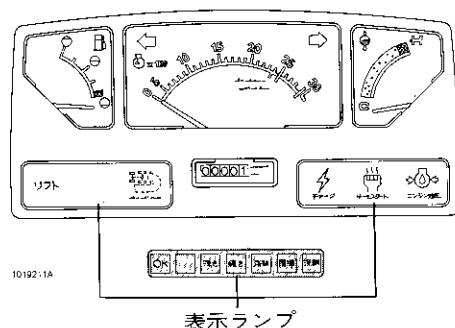
- ①トラクターを平坦な水平面に静止させ、駐車ブレーキをかけます。
- ②主変速・副変速・PTO変速を「N(中立)」位置にします。
- ③ワイヤハーネスのカプラが、確実に装着されていることを確認します。
- ④カテゴリ切換えスイッチを、3点リンクの取付状態に合わせて切換えます。



ロータリ	クイックヒッチ付 ロータリ
内幅 465mm作業機	内幅 565mm作業機
狭	広
カテゴリ切換スイッチ位置	

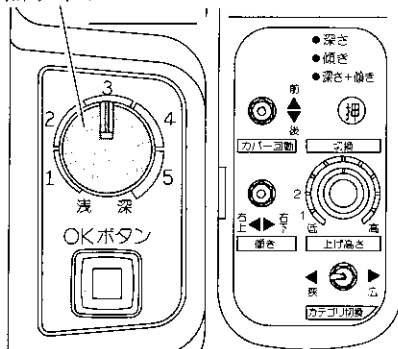
〈点検要領〉

- ①キースイッチ「ON」でパネルの表示ランプが点灯し、2秒後に消灯するか確認します。
※UFO手動時は全て消灯し、UFO自動時には設定機能のみ点灯します。
※表示ランプ点滅時は、カプラの外れかセンサの異常などです。



- ②エンジンを始動し、ロータリーを地面から約50mm(爪先端)浮かします。
※エンジン回転を1500rpmに設定します。
- ③OKボタンを押して、OKランプ(緑)を点灯させます。
- ④ロータリーが地面に対して水平であることを確認します。
- ⑤耕深ダイヤルを回して、回動カバーが作動することを確認します。
- ⑥耕深ダイヤル「3」位置でリヤカバー先端を上下させると、ロータリーが昇降することを確認します。

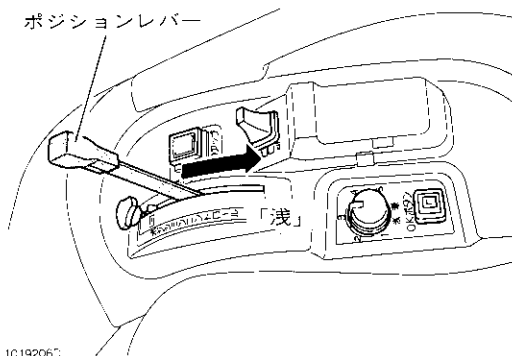
耕深ダイヤル



1019211B

- ⑦ポジションレバーを「浅」位置に操作して、ロータリーを最上げにすると、ロータリーがトラクターと平行になることを確認します。

ポジションレバー



1019206C

確認の結果、異常が見つかりました場合は、お買い上げいただきました販売店、または農協までご連絡ください。

作業前の点検

安全で快適な作業を行うには、ロータリーを使用する前に必ず作業前の点検を行い、異常箇所がある場合は直ちに整備してから作業を始めてください。また、作業終了時も点検を行って異常がないかチェックしてください。

⚠ 警告

- 点検・整備をするときは、交通の危険がなく、機械が倒れたり動いたりしない平坦で安定した場所で、トラクターには車止めをして点検・整備をしてください。守らないと傷害事故をおこすおそれがあります。

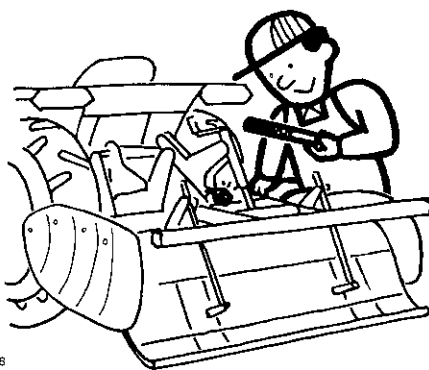
⚠ 注意

- 取り外した回転部のカバー類は、必ず取り付けてください。衣服が巻込まれたりして傷害事故をひきおこすおそれがあります。
- 点検・整備をするときは、エンジンを確実に停止させ、各レバーを「中立」位置にして、回転部が止まってから行ってください。

守らないと傷害事故をおこすおそれがあります。

点検箇所

- ドライブシャフトのロックピンのPTO軸への挿入状態
- 各部のスナップピンの差し込み状態
- 爪取付ボルトのゆるみ…37ページ参照
- ロータケースのオイル量…34ページ参照



1026608

【取扱いの注意】

- オイル量の点検は、平坦な場所でロータリーを接地させて行ってください。

作業に適した調節と使いかた

1. 作業に適した耕うん変速

作業内容とは場条件により、PTO変速を下表より選んでください。変速は、PTO変速レバーでおこなってください。

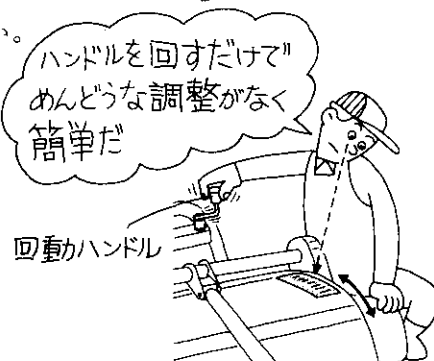
形 式	耕うん (荒)	耕うん (中)	耕うん(細) 碎土・代かき
AF-15 AF-16 AF-17 AF-18	1 速	2 速	2 速 または 3 速

トラクタの取扱い説明書をご覧ください。

2. ロータリーカバー回動装置の 使いかた

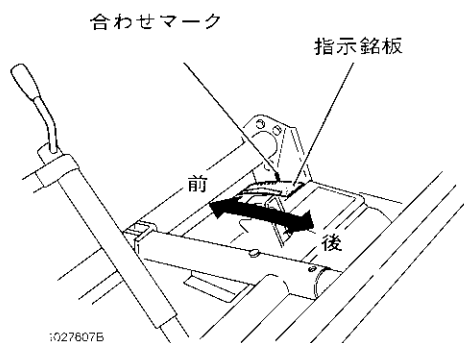
このロータリーは、ロータリーカバーが回動できる構造となっています。ロータリーカバーを回動させることにより深耕、標準耕、浅耕、代かきなどの作業内容にあった理想的な耕うん姿勢が得られます。次の要領でロータリーカバーを回動してください。

OK-UFO仕様は、トラクタ本機取扱説明書の「OK-UFOについて」の項を参照してください。



①作業内容により回動ハンドルを回し、ロータリーカバー上面に貼ってある指示銘板を、サイドプレートの合わせマークに合わせてください。

一般耕うん時は、合わせマークに指示銘板の「標準位置」を合わせます。深く耕うんする場合は、カバーを「前」方向に回動します。浅く耕うんする場合は、カバーを「後」方向に回動します。



②次のような場合条件、地表条件のときは、
回動位置をズラして使用してください。

- 湿田でタイヤ沈下が多い場合は回動位置を、少し「後」方向にズラして使用してください。
- 地表面にワラ、草の多い場合は、「前」方向にズラして使用すれば、仕上りはきれいになります。

【取扱いの注意】

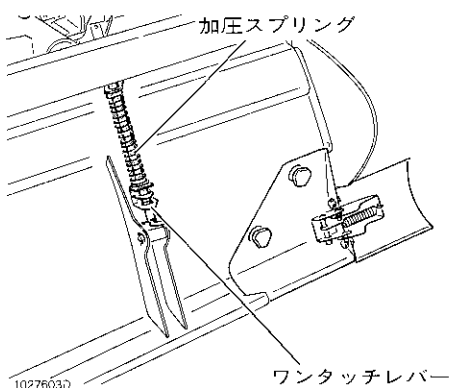
- 作業内容とロータリーカバーの回動位置を大きくズラしますと、オートロータリーの作業範囲がずれてきますので注意してください。（オートが働かなくなる場合があります。）
- 回動カバーを「後」方向に回動して使用する場合は、必ず油圧ストップスローリターンバルブでロータリー下げ速度を遅く（1.5～1.8秒）調整して使用してください。調節しないとリヤカバーを壊します。

3.加圧スプリングの調節のしかた

凸凹の激しいは場、畦くずしなどで表面の仕上りを平にしたい場合、また、オートロータリーで地表面に波が発生した場合に、加圧スプリングを働かせてください。

調節は、次の要領で行なってください。

- ①耕うんを行ない、その状態でトラクターを停止し、エンジンを停止します。
- ②加圧スプリングを2cm程度たわむ位置まで、ワンタッチレバーを指でつまんで、移動し、ワンタッチレバーを離すとその位置に固定されます。

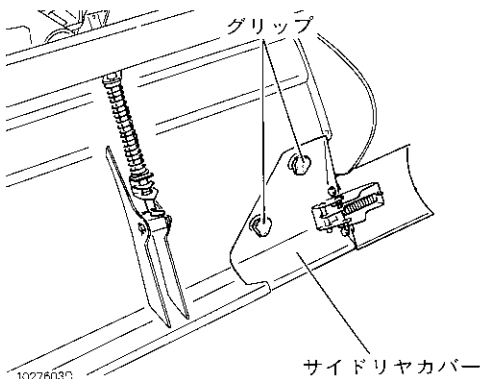


4. サイドリヤカバーの使いかた

両サイドのサイドリヤカバーは脱着できます。片培土作業時や尾輪(オプション)作業時に取り外して使用してください。

取り外しかた

①グリップを回して取り外します。



②サイドリヤカバー上部を手前に引いて取り外します。

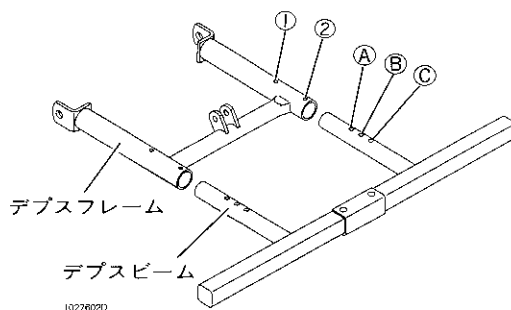
取り付けかた

①取り外しの逆の手順で行ってください。

5. デプスビーム前後調節のしかた

デプスビームは、作業に応じて前後方向に調節できます。

尾輪(オプション)使用の作業や畦立作業に合わせて、デプスビームの位置を下表にしたがって調整してください。



デプスフレームとデプスビームの組合わせ

		使用ピン穴	
		デプスフレーム	デプスビーム
耕うん	尾輪なし	①	③
	尾輪使用時	①	④又は⑤
代かき	尾輪なし	①	③
	尾輪使用時	①	④又は⑤
畦立	溝上げ	①	⑤
	整形	標準	④又は⑤
		微調節	④又は⑤

畦立整形は、三角切欠付E仕様の場合を示す。

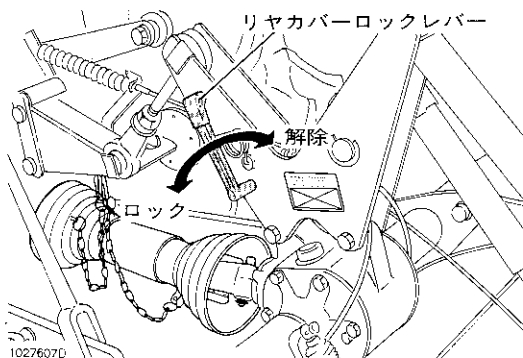
6. リヤカバーロック・逆転PTOの 使いかた

▲ 注意

- 逆転で土寄せを行なう場合は、エンジン回転を下げてください。
- 逆転での耕うんは、未耕地や石の多いほ場では、絶対に行なわないでください。守らないと飛散物により、傷害事故を起こすおそれがあります。

ほ場の四隅に寄せられた土を移動させて、仕上がり方を平にしたい場合に使用します。

- ① リヤカバーロックレバーを手前に引き、リヤカバーをロックさせます。



- ② バックさせながら、リヤカバー先端を畦ぎわにくる位置でロータリーを下げ、ポジションレバーで土寄せしたい高さにロータリーを合わせます。
- ③ 回動ハンドルを浅い方向に回し、爪先端とリヤカバー先端が同じ高さになる位置にします。OK-UFOの場合は、「自動」→「手動」に切り替え、回動を後方に移動させ、爪先端とリヤカバー先端の高さを合わせます。
- ④ 前進すれば土寄せができます。爪軸回転方向は正転でも逆転でもできます。ほ場条件により選んでください。

7. 畦立器の取付けと 作業のしかた

〈標準リヤカバー〉

▲ 注意

- ロータリーに作業機を装着するときは、作業機の取扱説明書をよく読んで適切な処置を行ってください。守らないと傷害事故をおこすおそれがあります。

畦立器の取付けかた

- ① 回動ハンドルを回して、指示銘板の「畦立」位置を合わせマークに合わせます。

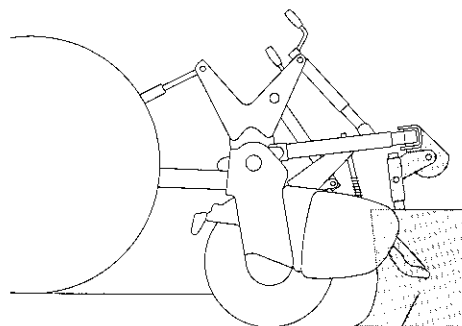


- ② 畦立器取付金具は、デプスビームに取付けます。

デプスビームの前後位置は、「デプスビームの前後調節のしかた」(P29)を参照してください。

畦立作業のしかた

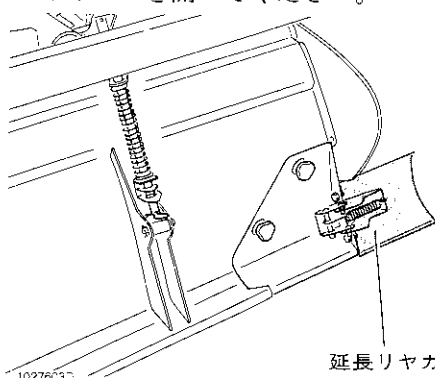
- ①畦立器をセットする場合、希望する耕深で、デプスビームをほぼ水平にして、畦立器を取付けてください。



1027603A

畦立器

- ②畦立器とリヤカバーの調節は、リヤカバー中央部長穴の中に畦立軸がくるように、回動ハンドルを回して行ってください。
- ③畦立時の段差を少なくするため、延長リヤカバーを開いてください。



10276033

延長リヤカバー

- ④耕深は畦立器によって決まりますので、オートロータリーレバーは「深」位置およびポジションコントロールレバーは「解除」位置にしてください。
- ⑥作業条件により、耕うん爪軸回転速度および車速を選んでください。

＜OK-UFO仕様の場合＞

OKボタンを押して「深さ」「傾き」のランプを消灯状態にして、回動スイッチでリヤカバー中央部長穴の中に畦立軸がくるようにし、回動シリンダーのハーネスを外します。

＜三角切欠き付き(E仕様)＞

畦立器の取付けかた

- ①回動ハンドルを回して、指示銘板の「畦立」位置を合わせマークに合わせます。
- ②三角切欠きカバーのグリップを回して外し、上側を少し手前に引くと三角切欠きカバーが外れます。



1013622A

- ③畦立器取付金具は、デプスビームに取り付けます。デプスビームの前後位置は、「デプスビームの前後調節のしかた」(P29)を参照してください。

畦立て作業のしかたは、標準リヤカバーと同様です。

OK-UFOの場合は、OKボタンを押して「深さ」「傾き」ランプを消灯状態にして、回動スイッチで畦立器とリヤカバー三角切欠き部の隙間の調節を行い、回動シリンダーのハーネスを外します。

【取扱いの注意】

- OK-UFO仕様でカバー回動する場合は、畦立器に当たっていないことを確認してから行ってください。ロータリーあるいは畦立器を破損することがあります。

取り外しかた

▲警告

- ロータリーの着脱は、平坦な場所で行ってください。とくに夜間のロータリーの着脱は明るい照明を用いるなど、安全に留意して行なってください。
- ロータリーを調整する場合には、トラクターの駐車ブレーキをかけ、また、エンジンを停止し、かつ、PTO変速レバーが「中立」位置にあることを確認したうえで行なってください。
- ロータリーの下へもぐったり、足を踏み込んだりしないでください。
- ロータリーの着脱時または、単体保管する場合は、ステッキ アンド スクレーパーを絶対に外さないでください。守らないと傷害事故を起こすおそれがあります。

▲注意

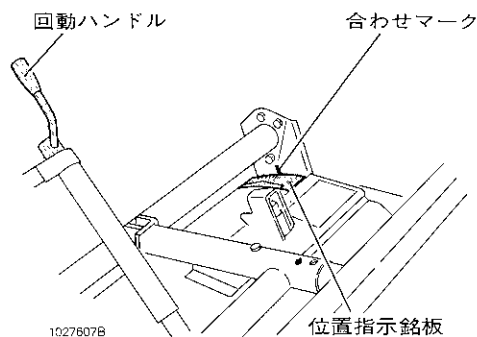
- オートロータリーフィードバックワイヤおよび、ドライブシャフトの着脱時は、必ずエンジンを停止してください。
- OK-UFO仕様の場合は、OKボタンを押して「深さ」「傾き」のランプを消灯状態にしてください。
- PTO軸を使用しないときは、PTOカバーを取り付けてください。守らないと傷害事故を起こすおそれがあります。

ロータリーの取り外しかた

- ①トラクターを平坦で、固い場所に停止し、回動ハンドルを回し、ロータリーカバーに貼ってある位置指示銘板の「標準」位置を合わせマークに合わせます。

OK-UFO仕様の場合は、トラクター本機取扱説明書「OK-UFOについて」の項を参照してください。

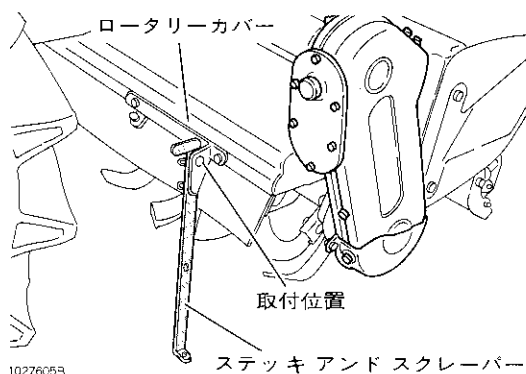
カバー回動スイッチを前方向に操作して、カバーより先に爪が接地するようにします。



- ②ロータリーを下げ、爪先端を接地させエンジンを停止してください。OK-UFO仕様の場合は左右の傾きを調整し、爪全体が接地していることを確認します。
 - ③リヤカバーロックレバーを引いて、リヤカバーが上がらないように固定します。
 - ④回動ハンドルを回し、リヤカバー先端を接地させます。
- OK-UFO仕様は、カバー回動スイッチを操作して行ってください。
- ⑤ステッキ アンド スクレーパーを、ロータリーカバー左側前のピンから取外し、ステッキ アンド スクレーパーを立ててください。

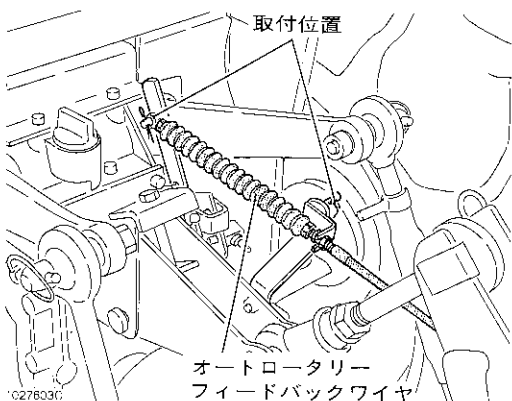
▲警告

- ステッキ アンド スクレーパーが確実にロックされていないと、ロータリーが転倒して、傷害事故を引起すことがあります。



- ⑥オートロータリーフィードバックワイヤの本機側取付位置の2ヶ所のスナップピンを外し、オートロータリーフィードバックワイヤを取外します。スナップピンは元の位置に戻しておいてください。

OK-UFO仕様には、オートロータリーフィードバックワイヤはありません。

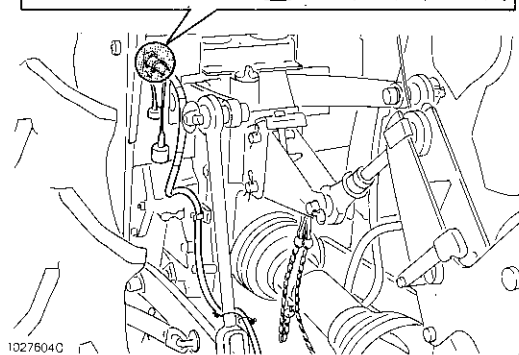
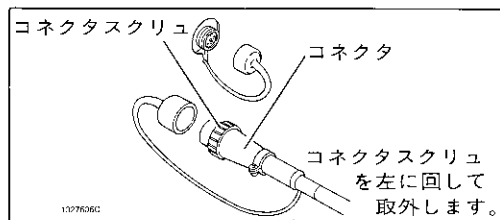


＜クイックヒッチ仕様(K仕様オプション)＞
クイックヒッチ仕様は、(P 39)を参照してください。

- ⑦ドライブシャフトの回り止めチェーンを外し、ドライブシャフトを外します。ロックピンを押しながらロータリー側を先に外してから本機側を外してください。
- ⑧回転ハンドルを回し、トップリンクに荷重がかからないようにして、ピンを抜いてトップリンクを外します。

OK-UFO仕様の場合は、カバー回転スイッチを操作して行ってください。

- ⑨**OK-UFO仕様**の場合は、キースイッチを「OFF」にして、コネクタを取外します。



- ⑩ロアリンク右側のピンを抜いて取外します。もし、外れない場合はリフトリンクターンバックルを回し、上下の調節をして取外してください。
- ⑪ロアリンク左側を外してください。

定期の点検・整備をするには

▲ 警告

- 点検・整備をするときは、エンジンを確実に停止させ、各レバーを「中立」位置にして回転部が止まってから行ってください。守らないと傷害事故をおこすおそれがあります。

▲ 注意

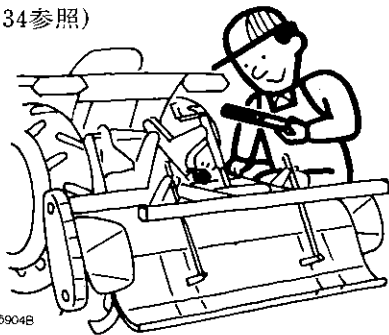
- 取り外した回転部のカバー類は、必ず取り付けてください。取り付けないと衣服が巻込まれたりして傷害事故をおこすおそれがあります。

1. 定期点検一覧表

給油箇所	種 類	容 量		給油方法	始業前	300時間毎
		RSAロータリー	RCAロータリー			
ロータケース	ギヤオイル EP #90	0.7 ℓ	1.5 ℓ	給油口 よ	点検	交換
ロータリー ギヤボックス	ギヤオイル EP #90	0.7 ℓ	—	給油口 よ	点検	交換
耕深調節ハンドル 回動ハンドル	オイル	少々		オイル 注 油	オイル 注 油	—
ドライブシャフト	グリス マルチバースタイプ	少々		グリス 塗 布	グリス アップ	—

点検箇所

- ドライブシャフトのロックピンのPTO軸への挿入状態
- 各部のスナップピンの差し込み状態
- 爪取り付けボルトのゆるみ… (P37参照)
- ロータリーギヤボックスのオイル量……… (P34参照)
- ロータケースのオイル量……… (P34参照)



1015904B

【取扱いの注意】

- オイル量の点検は、平坦な場所でロータリーを接地させて行なってください。
- 点検するときは、必ずエンジンを止めてください。

2. ロータリーギヤボックスオイルの点検・交換のしかた

オイル量の点検は、平坦な場所でロータリーを接地させて行ってください。

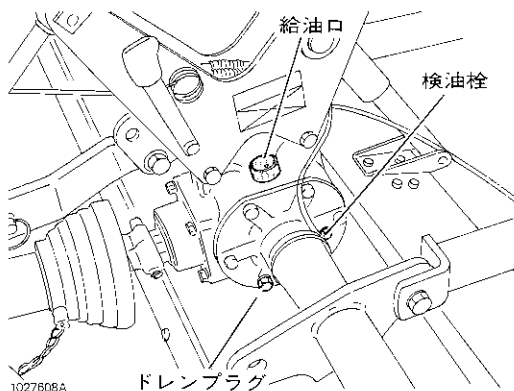
【取扱いの注意】

- 点検するときは、必ずエンジンを止めてください。

サイドロータリー

オイル量は、検油栓を外してオイルの有無を確認してください。

オイルを交換するときは、ドレンプラグから排油して、給油は上部給油口より給油してください。オイルはギヤオイルEP#90を使用してください。



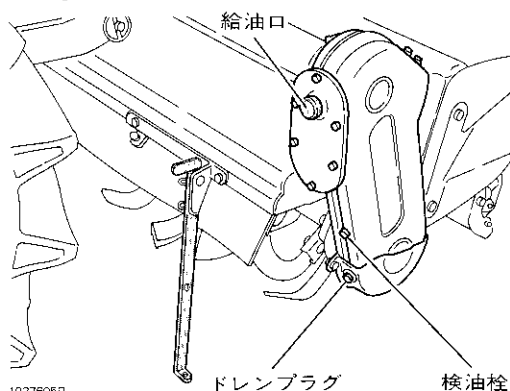
3. ロータケースオイルの点検・交換のしかた

サイドロータリー

オイル量は、検油栓を外してオイルの有無を確認してください。

オイルを交換するときは、ドレンプラグから排油して、給油は上部給油口より給油してください。

オイルはギヤオイルEP#90を使用してください。

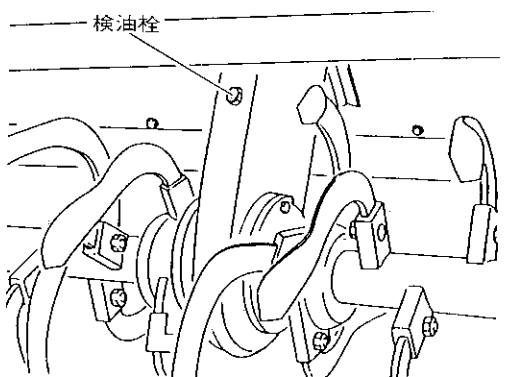
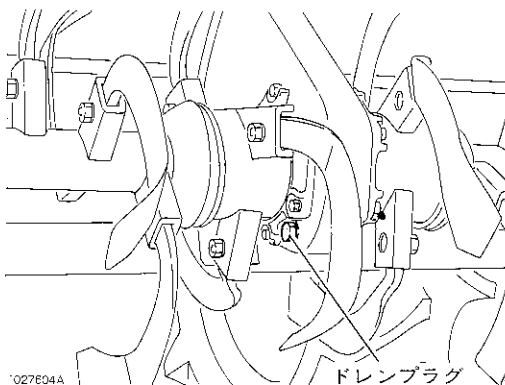
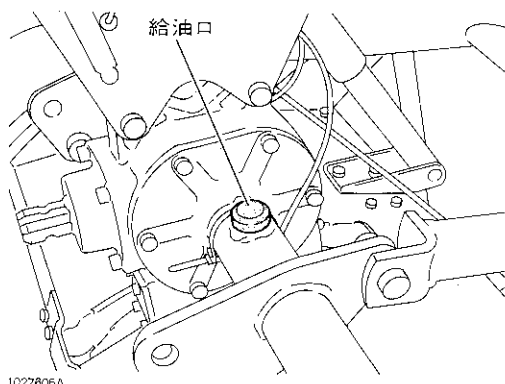


センターロータリー

オイル量は、検油栓を外してオイルの有無を確認してください。

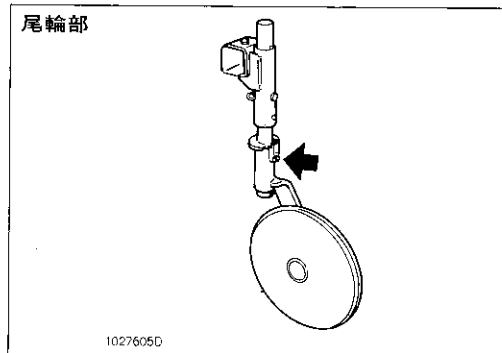
オイル交換するときは、ドレンプラグから排油して、給油は上部給油口より給油してください。

オイルはギヤオイルEP #90を使用してください。

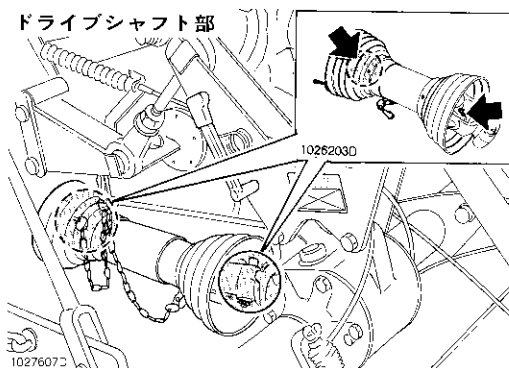


4. グリスアップ

尾輪部



ドライブシャフト部

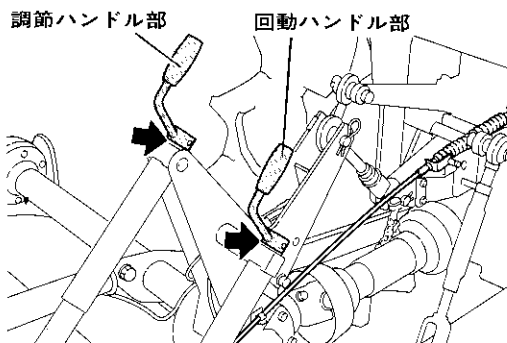


【取扱いの注意】

- 代かき作業後は、グリスが汚れています。作業終了後は、必ずグリスアップを行い、汚れたグリスを押し出してください。サビ付きの原因になります。

5. 注油

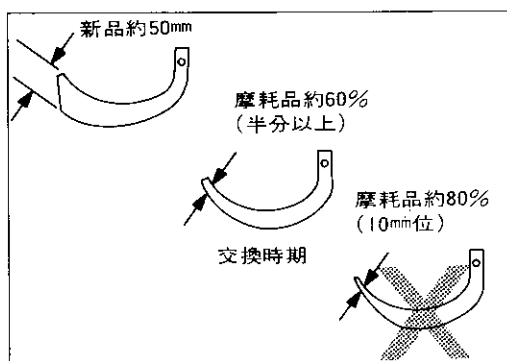
回動ハンドルおよび調節ハンドルの回転部に、オイルを注油してください。



6. 爪の交換時期

摩耗量が約半分を越えたら交換時期です。曲ったり、折れたりしてからでは遅すぎます。効率の良い耕うん作業をしていただくために、耕うん爪は早めにお取り替えください。

爪の取付けかたは、P18を参照してください。



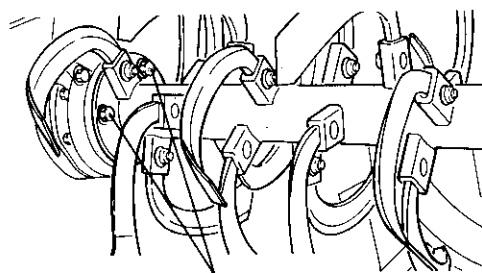
7. 各部のボルトの締付け

⚠ 警告

- 平坦で固い場所を選び、トラクターのエンジンを停止して駐車ブレーキをかけ、機体が動かないようにしてください。
- ローターリー落下防止のため、油圧ストップ・スローリターンバルブを右に回して完全に締めてください。なお、安全のために爪軸に木の台などをしてください。

守らないと傷害事故をおこすおそれがあります。

ロータリー各部ボルト・ナットなどを点検し、ゆるんでいるところは締め付けてください。

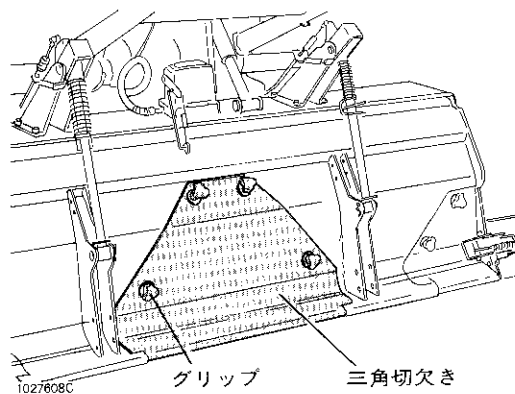


1026307A

ロータリーシャフト取付ボルト

リヤカバーバリエーション・オプション

1. 三角切欠き付<E仕様>

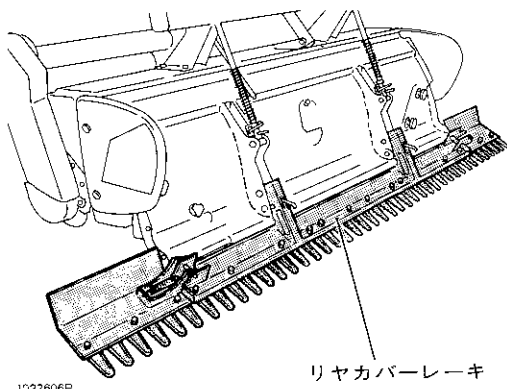


センター培土作業性能を、より一層向上させます。

取り扱い方法

- ①リヤカバーのグリップを回して外します。
- ②カバー上側を少し手前に引くと、三角切欠きが外れます。

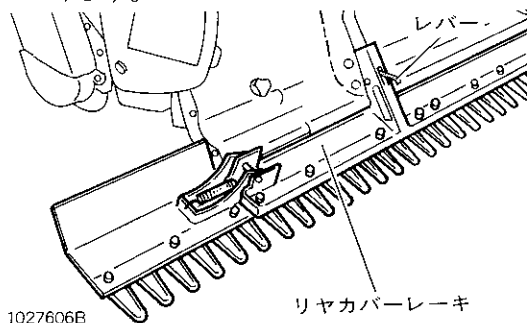
2. リヤカバーレーキ (オプション)



代かき・整地作業性能を一層向上させます。

取り付けかた

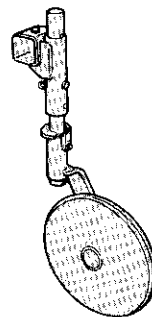
- ①リヤカバーにリヤカバーレーキを引っ掛けます。



- ②リヤカバーレーキのレバーをおさえて押し込みます。

詳細については、リヤカバーレーキ取付け要領書を参照してください。

3. 尾輪 (オプション)



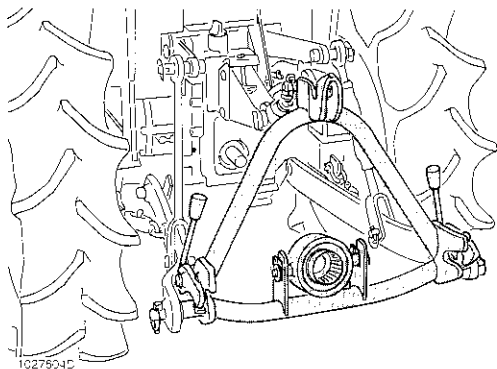
リヤカバーを浮かせた状態での作業や内盛耕や外盛耕に使用します。また、播種作業などにも使用します。

取り扱い方法

通常耕うんの際は、アジャストバー下の穴へ、代かきの際は、アジャストバー上の穴に平頭ピンで位置決めします。深さの微調節は調節ハンドルにて行います。また各種作業の耕うん深さ調節の目安としてメモリをご利用ください。

4. クイックヒッチ

(K仕様オプション)



- ワンタッチでドライブシャフトの接続も含めたロータリーの着脱が可能です。
- 日農工規格、特殊4 PオートヒッチA-II形を採用しており、幅広い作業機の着脱がワンタッチで行えます。

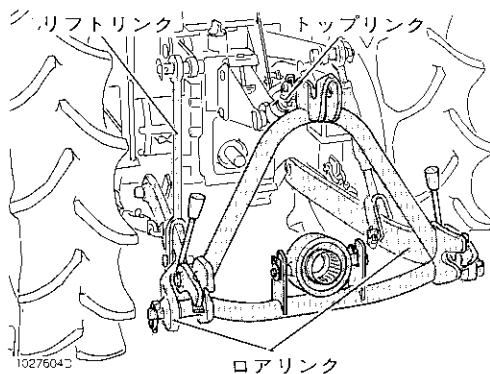
⚠ 警告

- ロータリーの着脱は、平坦な場所で行ってください。とくに夜間のロータリーの着脱は明るい照明を用いるなど、安全に留意して行ってください。
- トラクターを移動してロータリーを着脱する場合には、トラクター周辺やロータリーとの間に人が入らないようにしてください。

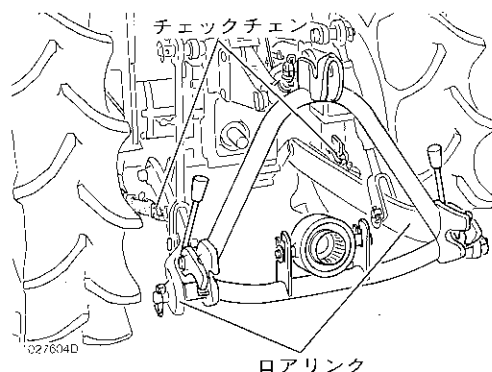
守らないと傷害事故を起こすおそれがあります。

クイックヒッチの準備

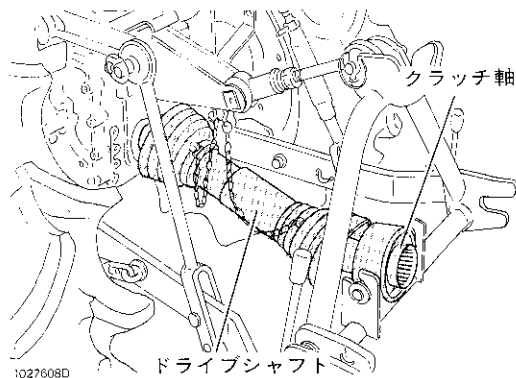
- ①ロアリンクとリフトリンクの穴位置、トップリンク長さは標準ロータリーと同じです。(P15)を参照してください。
- ②クイックヒッチを本機3点リンクに取付けます。



- ③ロアリンク(左右)のチェックチェーンは、若干ゆるめに張っておきます。



- ④ドライブシャフトを装着します。ドライブシャフトのピンが、PTO軸およびクイックヒッチ爪クラッチ軸の溝に入っていることを確認してください。

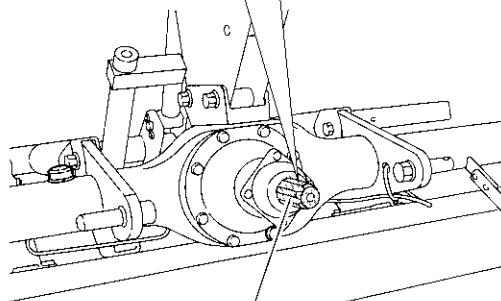
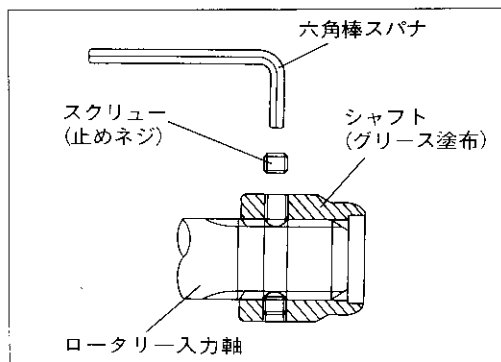


- ⑤ロータリーのローワーリンクピンを上の方の穴に付け替えます。

リヤカバーバリエーション・オプション

- ⑥ロータリー付属のシャフトを入力軸の溝とシャフトのネジ穴を合わせてスクリューで締め付けます。

※シャフトにはグリースを塗布してください。



1027907

ロータリー入力軸

ロータリーの取り付けかた

⚠ 注意

- ステッキ アンド スクレーパーは転倒防止のため、絶対に外さないでください。守らないと傷害事故を起こすおそれがあります。

【取扱いの注意】

- ステッキ アンド スクレーパーを接触させた状態で、ロータリーを動かさないでください。ステッキ アンド スクレーパーが破損するおそれがあります。

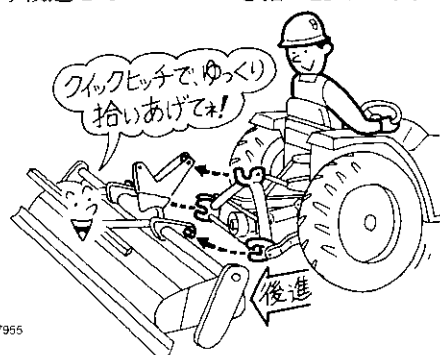
- ①リヤカバーロックレバーを引いて、リヤカバーが上がらないように固定します。

- ②回動ハンドルを回して、指示銘板の「着脱」位置を合わせマークに合わせます。尾輪（オプション）を使用する場合は、調節ハンドルを回してメモリバン表示「7」の着脱位置に調節します。



1027915

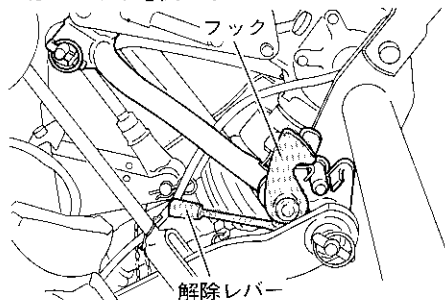
- ③エンジンを始動させます。クイックヒッチをロータリーの中心に合わせて、ゆっくり後退させロータリーを拾い上げます。



1027955

【取扱いの注意】

- クイックヒッチのフックがロックされていることを確認してください。ロックされていないときは、解除レバーは「ロック」側に倒してください。

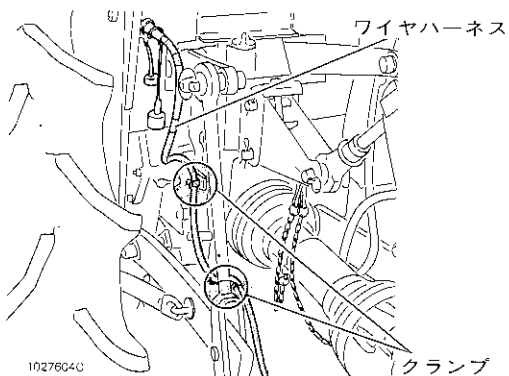


- ④ロータリーが水平か確認します。ロータリーを後方から見て水平になるように、右側リフトリンクのターンバックルで調節してください。

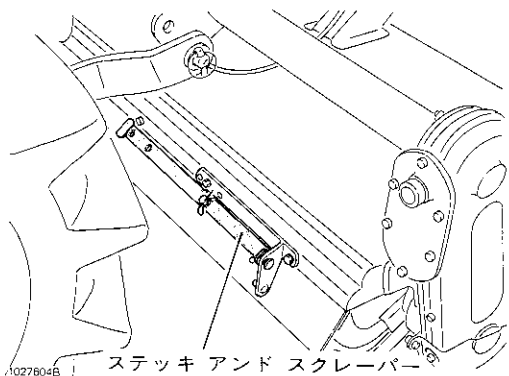
OK-UFO仕様は、工場出荷時に調節の上、出荷されています。

チェックチエンを張り、このとき、トラクターとロータリーの中心を一致させてください。調節ができたならチェックチエンのターンバックルにスナップピンを差し込みます。

なお、**OK-UFO**仕様の場合は、ワイヤハーネスをトラクターのコネクタ部に接続し、ワイヤハーネスをクランプしてください。



- ⑤ステッキ アンド スクレーパーを、元の位置に収納してください。



ロータリーの取り外しかた

取り外しは、取り付け手順と逆に行ってください。

- ①回動ハンドルを回して、指示銘板の「着脱」位置を合わせマークに合わせます。

OK-UFOの場合は、カバー回動スイッチを操作して「着脱」位置に合わせます。

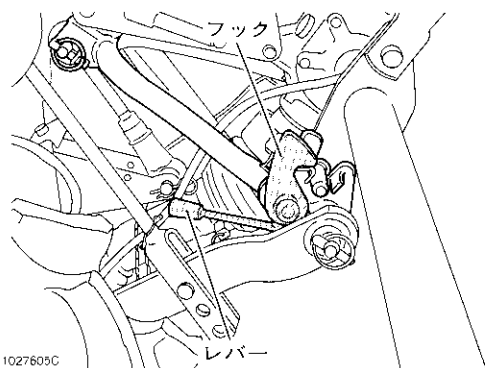
尾輪(オプション)を使用の場合は、調節ハンドルを回してメモリバン表示「7」に調節します。

- ②ステッキ アンド スクレーパーを、ロータリーカバー左側前から取外し、ステッキ アンド スクレーパーを装着してください。

- ③**OK-UFO**仕様の場合は、ワイヤハーネスを取外します。

- ④リヤカバーロックレバーを引いて、リヤカバーが上がらないように固定します。

- ⑤ロータリーを持ち上げた状態で、クイックヒッチのレバーを操作し、フックを解除します。



- ⑥ロータリーを下げ、トラクターをゆっくり前進すると、ロータリーが外れます。

ロータリーの仕様

サイドロータリー

形 式		RSA1004	RSA1204	RSA1304	RSA1404	RSA1604
機体寸法	全 長(mm)	800				
	全 幅(mm)	1160	1360	1460	1560	1760
	全 高(mm)	1090				
※	重 量 (kg)	132	148	156	164	180
適用トラクター		AF-15、AF-16、AF-17、AF-18				
装着装置の種類		特殊 3 点リンク直装				
標 準 耕 幅 (mm)		1000	1200	1300	1400	1600
耕うん軸回転数 (rpm)		191、277、422(エンジン2500rpm時)256(逆転)				
耕うん爪取付方法		ホルダタイプ				
標準爪と本数		ナタヅメ 右-12本 左-12本 ヘンシンナタヅメ 右-1本 左-1本	ナタヅメ 右-13本 左-13本 ヘンシンナタヅメ 右-1本 左-1本	ナタヅメ 右-14本 左-14本 ヘンシンナタヅメ 右-1本 左-1本	ナタヅメ 右-16本 左-16本 ヘンシンナタヅメ 右-1本 左-1本	ナタヅメ 右-18本 左-18本 ヘンシンナタヅメ 右-1本 左-1本
標準爪外径 (mm)		450				

※重量には装着部品を含みません。

センターロータリー

形 式		RCA1304
機体寸法	全 長(mm)	820
	全 幅(mm)	1360
	全 高(mm)	1110
※	重 量 (kg)	152
適用トラクター		AF-15、AF-16、AF-17、AF-18
装着装置の種類		特殊 3 点リンク直装
標 準 耕 幅 (mm)		1300
耕うん軸回転数 (rpm)		181、261、399(エンジン2500rpm時)242(逆転)
耕うん爪取付方法		ホルダタイプ
標準爪と本数		ナタヅメ右-12本 左-12本・ヘンシンナタヅメ 右-1本 左-1本・クロスナタヅメ 右-1本 左-1本
標準爪外径 (mm)		450

※重量には装着部品を含みません。

ナプラ細土ロータリー

形 式		RSA1204SE	RSA1204SUE
機体寸法	全 長(mm)	800	
	全 幅(mm)	1360	
	全 高(mm)	1090	
※	重 量 (kg)	153	
適用トラクター		AF-15、AF-16、AF-17、AF-18	
装着装置の種類		特殊 3 点リンク直装	
標 準 耕 幅 (mm)		1200	
耕うん軸回転数 (rpm)		191、277、422(エンジン2500rpm時)265(逆転)	
耕うん爪取付方法		ワンタッチホルダタイプ	
標準爪と本数		ナ タ 爪 偏心ナタ爪	左-17本 右-17本 左-1本 右-1本
標準爪外径 (mm)		450	

※重量には装着部品を含みません。

トラクターとロータリーの組合せ

(この組合せは予告なく変更することがあります。)

トラクター		適 用 ロ ー タ リ ー	
馬力	型 式	サ イ ド ド ラ イ ブ	セ ン タ ド ラ イ ブ
15	AF-15	RSA1004、RSA1204、 RSA1304 RSA1404	RCA904、RCA1004、 RCA1304
16	AF-16	RSA1004、RSA1204、 RSA1304 RSA1404	RCA904、RCA1004、 RCA1304
17	AF-17	RSA1004、RSA1204、RSA1304 RSA1404 RSA1604	RCA904、RCA1004、 RCA1304
18	AF-18	RSA1004、RSA1204、RSA1304 RSA1404 RSA1604	RCA904、RCA1004、 RCA1304

 : 標準仕様でのロータリーです。

このロータリーには2種類のリヤカバータイプがあります。

記号

- 標準タイプ……………表示なし
- 3角切欠付……………E
- 延長爪軸キット オプション……(センターロータリー用として、100mmと150mmの2種類準備)

あ行

OK-UFO

作業機の左右の傾きや耕深をコンピュータにより全自動で行なう装置。

オートロータリー

フィードバックワイヤー

自動で耕深の調整を行なうためのワイヤー。

か行

クイックヒッチ

トラクターに乗ったままワンタッチで作業機を装着できるヒッチ。

耕深

耕うんする深さ。

さ行

サイドドライブロータリー

爪軸を駆動するチェーンのケースがロータリーの左側にあるロータリー。

三角切欠

ロータリー培土機を装着する為に、リヤカバーの中心を三角形に切り欠いてあること。

センタードライブロータリー

爪軸を駆動するチェーンのケースがロータリーの中心にあるロータリー。

た行

チェックチェーン

トラクターに対し作業機が左右に振れる量を規制するチェーン。

デブスビーム

培土などの作業機を装着する際に用いる支柱。

デブスフレーム

デブスビームを支持する支柱。

トップリंक

作業機を装着する3点のリンクの内、作業機の上部をつり下げているリンク。

トラクターヒンジ

トップリंकを取り付けるトラクター側のヒンジ。

ドライブシャフト

トラクターの動力を作業機へ伝達する為の軸。

は行

フローティングリヤカバー

リヤカバーの中央部分をゴムでつなぐことにより、耕うんの均平性を向上させたリヤカバー。

ポジションコントロールレバー

作業機を上昇下降させるレバー。

PTO (パワー テイク オフ)

作業機の動力を取り出すための軸。

や行

油圧スローリターンバルブ

作業機の下降スピードを調整するバルブ。

ら行

リフトアーム

トラクターが作業機を上げる為のアーム。

リフトリンク

リフトアームとリフトリンクを連結しているリンク。

リンクヒッチ

トップリंकを取り付けるヒッチ。

ロalink

作業機を装着する3点のリンクの内、作業機の下部をつり下げているリンクで左右1本づつある。



ヤンマー農機株式会社

本社 〒530 大阪市北区茶屋町1番32号
札幌支店 〒060 札幌市中央区北4条西2丁目1番地の3
電話 (011)221-6138 FAX (011)221-6235
仙台支店 〒984 仙台市若林区六丁の目元町16番1号
電話 (022)288-7711 FAX (022)288-8972
東京支店 〒362 上尾市春日1丁目32番1号
電話 (048)776-3211 FAX (048)776-3888
ヤンマー農機新潟 〒950-11 新潟県西蒲原郡黒埼町大字山田222番地
電話 (025)231-7730 FAX (025)231-7765
金沢支店 〒920-01 金沢市今町ワ48番地
電話 (0762)57-3800 FAX (0762)57-6410
名古屋支店 〒450 名古屋市中村区名駅3丁目14番16号(東洋ビルディング6階)
電話 (052)571-1177 FAX (052)571-2620
大阪支店 〒530 大阪市北区茶屋町1番32号
電話 (06)376-6355 FAX (06)372-1165・(06)372-2455
大阪サービスセンター 〒660 尼崎市西高洲町16番地44
電話 (06)411-5551 FAX (06)411-5666
岡山サービスセンター 〒702 岡山市藤崎570-1
電話 (086)276-8171 FAX (086)276-8174
四国サービスセンター 〒763 丸亀市土器北2丁目43番地
電話 (0877)22-3165 FAX (0877)22-3166
福岡支店 〒812 福岡市博多区博多駅前3丁目2番1号(日本生命ビル4階)
電話 (092)441-0922 FAX (092)481-3477

お客様メモ

購入日	平成	年	月	日
購入店名				